FOMA モジュール搭載非常通報装置

whiteLock21HW

取扱説明書

製品をお使いになる前に、本書をお読み下さい

PDF を画面でご覧の方は目次や参照ページをクリックすると該当ページにジャンプします。
また文章からジャンプする箇所もあります。

重要事項

本製品は、医療機器、原子力施設機器、航空機器、交通関連機器など、ひとたび事故が起こると生命、財産に関わる重大な損害を与えるおそれのあるシステムには使用しないで下さい。
本製品を組み込んだお客様の製品に起因して発生したいかなる損害に対しても、弊社では一切の責任を負いません。
本製品の仕様、デザインなどは改良のため予告なしに変更する事があります。

はじめに（必ずお読み下さい）

このたびは、「WhiteLock21HW」をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品は、外部からの入力信号に応じて、FOMA 無線モジュールより携帯電話機、PHS 電話機、一般電話機などに音声メッセージや SMS メールで自動通報する装置です。
この「非常通報装置 WhiteLock21HW 取扱説明書」の本文中においては、「WhiteLock21HW」を「WL21HW」と表記させていただいております。あらかじめご了承下さい。
※「FOMA」は株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

●WL21HW は FOMA 無線モジュール（UM01-HW）を搭載しています。
※ご使用になるには株式会社 NTT ドコモとご契約の上、FOMA　SIM カード（UIM カード）を入手して下さい。
●MVNO（ドコモ回線を利用した MVNO も含む）で WL21HW を使用した場合は、動作保証対象外となります。また、サポート及び修理も出来かねますのでご了承下さい。
●WL21HW は FOMA 無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などの電波の届かないところ、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。
●高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波の特性上、接続された FOMA 無線の受信レベルが十分な状態で移動せずに使用している場合であっても通信が切れる、音声が聞こえない事がありますので、ご了承下さい。
●WL21HW では、テレビ電話・i モード・FOMA64k データ通信はご利用いただけません。
●WL21HW の誤作動、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失については、当社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承下さい。
●WL21HW は日本国内でご使用下さい。
注 1）FOMA 電波が使用は出来る国であれば動作しますが、海外の法律に合わせていない為日本国外でのご使用はできません。（保証対象外）
注 2）海外でご使用された場合、販売者ではなく使用者が罰せられますのでご注意下さい。また、輸出に関する書類等の提供は出来かねますのでご了承下さい。
●WL21HW は精密機器のため電源の安定供給が必要となります。瞬断を起こさないようお気を付け下さい。また、塵、ほこり、水滴等により故障する場合がありますのでご注意下さい。
●WL21HW をお使いになる前に、本書をよくお読み頂き、手順に沿って動作を確認の上ご使用下さい。特に通報先の電話番号の間違いには十分ご注意下さい。この説明書は、本製品の側などにいつも手元においてお使いください。
●WL21HW は FOMA 端末（UM01-HW）を使用している為、迷惑電話の防止や回線を保護するための機能（リダイヤル規制）中は、通報動作が待機状態になります。
●WL21HW は付属品を含め、改良のため予告なく装置全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承下さい。
●WL21HW は、ご購入直後の状態ではそのまま使用することができません。弊社製品サイトより設定用ソフトウェアと USB ドライバをダウンロードしていただき、パソコンにインストールし設定を行う必要があります。また、音声通報する場合は録音も行って下さい。
●設定後は本書の説明にしたがって動作確認をしてからお使いください。
※本取扱説明書に掲載のパソコン画面は、Windows7（Professional サービスパック 1）を例にしてあります。
※本取扱説明書に掲載の設定ソフトは WhiteLock21HW 設定ソフト Ver1.02 が記載されています。

製品の最新情報、バージョンアップはインターネットでご確認できます。
製品ホームページ　http://www.adocon.jp/
※本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
※本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

安全にお使いいただくために

本製品の誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐために、本文中に示す「警告マーク」および「注意マーク」の意味を十分理解していただき必ずお守り下さい。
この取扱説明書では動作設定および操作の手順について解説しています。内容をご理解いただいたうえ、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

警告マーク及び注意マーク表示について

警告

この表示の警告事項を無視して本製品の取り扱いをすると、本製品が誤動作し、人命、身体に関わる死傷事故、財産に対する損害事故が生ずる可能性があります。また、法律違反になる場合があります。
弊社では、この事に起因するいかなる損害に対し一切の責任を負いません。

注意

この表示の注意事項を無視して本製品の誤った取り扱いをしますと、本製品が破損、又は通信不能や誤動作する場合があります。
弊社では、この事に起因するいかなる損害に対し一切の責任を負いません。

警告と注意

警告

本製品は、人命や身体、財産に関わる重大事故の発生するおそれのある設備や機器としての使用や、それらに組み込んで使用しないで下さい。また、それら施設の周辺で使用しないで下さい。
電波による誤動作を引き起こす可能性がある医療機器の近くでは使用しないで下さい。
航空機、原子炉施設などの重要施設等での使用はしないで下さい。
本製品を使用したシステムを設計する場合は誤動作防止、火災発生対策など安全設計をして下さい。
軍事目的（武器、テロ行為）や、軍事関連施設では使用しないで下さい。
本製品は、日本国内仕様となっていますので、海外では使用しないで下さい。本製品を日本国外で使用するとその国の電波に関する法律に違反する可能性があります。
本製品を使用するシステム、機器の安全対策を十分に行って下さい。
本製品は電波を使用しており、電波使用範囲内であってもマルチパスフェージングや外来ノイズの影響で通信が途切れる場合があります。その場合でもシステムが常に安全を保つように考慮して下さい。
以下のような環境あるいは、本製品の定格や仕様の範囲を越えた使用はしないで下さい。

- 本商品は精密機器です。塵・ほこり・水滴等により故障することがあります。
- 振動や衝撃が加わる場所。高温、低温になる場所や温度差が急激に変化する場所、閉め切った車内、ストーブ、ヒータ、冷凍庫、本体の放熱を妨げる場所など。
- 湿度や水気が多い場所、浴室内、台所の流しや湯気の当たる場所、雨や雪のかかる屋外、直射日光が当たる場所。
- 強い電波や磁力、静電気が発生する場所。腐食性ガスの発生、化学物質の付着するおそれのある場所。

以下のような取り扱いは絶対にしないで下さい。

- 本製品を落下などの衝撃を加えないで下さい。
- 本製品の上には、重い物、液体などを置かないで下さい。
- 異常発熱や発煙の原因となる為、本製品内に金属などの異物が入らないようにして下さい。
- 電源供給線の誤配線が無いようにして下さい。
- 手や体が電源部に接触すると感電する事がありますので、ご注意下さい。
- 煙が出るなど、異臭がした場合は直ちに電源供給を停止し使用を中止して下さい。
- 感電の恐れがありますので、電源を入れた状態では施工しないでください。

・本体は、屋内での使用を前提に設計されています。屋外でご使用の際には使用条件定格内になるように工夫してご使用ください。
・本体内部に異物等が入らないようにご注意ください。

注意

本体の分解・改造は行わないでください。本体内部は静電気に極めて弱い部品が使用されています。本体に触る前に人体の静電気を逃がしてください。
異常発熱や発煙を防止するため、本製品の保障特性・性能の数値に少し余裕を持たせて使用してください。
本体もしくはそれに接続されている部分から異臭がした場合や、過熱や煙が出たりする場合は、ただちにご使用を止め、電源を切り、取り外してお買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。
本製品を長期間使用しない場合は、購入時の箱に入れて保管して下さい。
本書の内容のコピーや転載を無断で行わないで下さい。著作権法により禁止されています。
AC アダプタは必ず付属品をご使用ください。他の製品の流用は絶対にお止め下さい。
通報装置は、登録された電話番号が正しく設定されているかどうか認識できません。従って、誤った電話番号を登録されると内容によっては多額の電話代がかかる場合があります。設定後には動作試験(メール通報の場合メールの受信を確認してください)を必ず実施してからご使用下さい。また通報先に登録してある電話番号を解約された際にも、通報装置の設定修正・動作試験を行ってください。

設置場所について（必ずお読み下さい）

本体を次のような場所に設置しないでください。動作が不安定になるなど、おもわぬ火災や故障の原因になる場合があります。
・急激な温度変化や湿度変化がある場所。
・結露するような場所。
・直射日光があたる場所。
・水気、火気のある場所。
・粉塵等のほこりの多い場所。
・不安定な場所や振動がある場所。
・強い磁気や電磁波を発生する機器の近く。
・腐食性ガスのある場所。
・気化した薬品や化学反応をおこす様な場所。空気中に塩分が含まれている場所。
・鉄粉がある場所。

お願い

本体やケーブル等は、小児の手が届かない場所に保管、設置してください。
長期間にわたって無人で使用する場合は、必ず定期的に保守・点検を行ってください。

初期不良について

初期不良対応は、商品到着後 14 日以内です。また、弊社の発送間違えの場合も交換させていただきます。なお、初期不良で売り切れ商品につきましては、同機種に交換できない場合があります。その場合、修理対応とさせていただくか、弊社によるお引取りにて対応させていただきます。

製品保証について

本製品の保証期間は、ご購入の日から 1 年間です。保証期間を過ぎた場合は有償修理となります。ただし、「警告と注意」の項に掲げた環境や使用状況での故障につては、保証期間であっても有償修理となります。保証に関する詳細は製品に添付の保証書をご覧下さい。

雷による故障について

雷による故障は保証期間内であっても保証対象外となります。
対策として、電源側に避雷器を取り付けられる事をおすすめします。弊社では避雷器の販売をしておりませんので別途ご用意下さい。

製品修理について

本製品の正しいご使用方法にも関わらず発生した故障に対し、製品の保証期間中（ご購入後 1 年間）は無償で修理いたします。保証期間を過ぎている場合は有償修理となります。
修理に出される前には、弊社ホームページの製品別 Q&A に同様な事例がないかご確認下さい。また、もう一度故障状況もご確認いただき、弊社営業担当者まで事前にご連絡をお願いします。
修理品は宅配便などで弊社までご送付下さい。

修理内容の明記

修理に出す場合は、必ず故障の内容や状況を具体的に明記し、修理品と一緒に送って下さい。

修理料金について

修理料金は、技術料、部品代、送料で構成されます。

送料について

・保証期間内： 返送費用は弊社負担とさせていただきます。
弊社までの送料はお客様でご負担下さい。
・保証期間外： お客様の負担となります。

※出張修理は行いません。

ご連絡、お問い合わせ先

各種問い合わせは、下記の連絡方法がございます。また、弊社のホームページには技術情報ならびに最新情報、Q&A などが掲載されていますのでご覧下さい。
インターネットメールによるお問い合わせが、簡潔で間違いが無く、内容が伝えやすいのでとても便利です。
技術的なお問合せに関しては、開発環境や問題となっている事柄などを具体的にとりまとめてからご連絡下さい。

■ インターネットメール
Ｅメールアドレス：eigyou@adocon.co.jp
宛先：株式会社アドコン　営業担当宛

■ 電話
電話番号：0852-54-2036
受付時間： 9：00 ～ 12：00
13：00 ～ 17：00
※営業日は平日のみとなっております。

■ FAX
ＦＡＸ番号：0852-54-2196
宛先：株式会社アドコン　営業担当宛

■ 郵便
郵便番号：690-2101
住所：島根県松江市八雲町日吉 3－24
宛名：株式会社アドコン　営業担当宛

■ ホームページ
弊社ホームページには製品毎のカタログ、取扱説明書ならびに新着情報、Q&A などが掲載されていますのでご覧下さい。
ホームページアドレス http://www.adocon.jp/

目　次

ご使用の前に.....8

略称、商標について 8
制限事項 8
FOMA サービス申込み方法について.....8
SIM カードについて 8
SIM カードの挿入について.....9
本体の操作について 9
本体内蔵の充電池について 9
電源操作 10
　電源を入れる（電源スイッチ ON） 10
　電源を切る（電源スイッチ OFF） 10

製品概要と特徴.....11

概要.....11
特徴.....11
パッケージ内容 12
WhiteLock21HW_ANT（アンテナオプション付） 13
本体バージョンによる動作の違い 13

各部の名称とその機能 14

本体外観 14

動作設定.....15

設定ソフトのインストール 15
　ホームページから「ダウンロード」する方法 15
　CD からインストールする場合.....18
USB ドライバのインストール 19
　Windows7 , Windows 8 での自動インストール.....19
設定に使用するパソコン.....19
設定ソフトウェアの起動.....20
全体の設定.....20
　警報入力の遅延時間（mS） 20
　SMS 定期通報 21
　SMS 個別解除呼び出し.....21
　外部入力信号の仕様 21
　音声通報を終了する条件.....22
　着信許可（入力信号の状態確認） 22
　着信を許可する相手先番号 22
通報先の設定（音声通報） 23
　通報先の電話番号.....23
通報先の設定（SMS） 24
　通報先の SMS 電話番号.....24
送信メッセージの編集.....25
情報の表示.....26
通信ポートの確認.....26
設定内容の転送 27
本体から設定内容を読み込む.....29
設定内容の保存と読み込み 30

録音再生 31

録音再生の概要 31
出荷時の録音内容 31
録音内容の例 31
通報時の再生例（通常通報を受けた時） 31
着信時の再生例（入力信号の状態確認） 32
録音再生の操作方法 32
録音のコツ 32

動作確認 33
呼出の種類と通話料金 34

通報の種類 34
音声通報 34
SMS メール通報 34
1 回の通報にかかる通話時間 34
通報中に発生した警報について 34
通報動作の順番と警報の種類 35
警報発生・解除（音声通報と SMS 通報を設定した場合） 35
警報発生が重なった時（音声通報と SMS 通報を設定した場合） 35
全解除呼出設定（音声通報のみ） 36
個別解除呼出（SMS 通報のみ） 36
全解除・個別解除呼び出し（どちらも設定した場合） 37
定期通報（SMS 通報のみ） 37
停電復電時発信 37
停電保証時間（10 分）を超えてからの復電通報 38
着信許可（入力信号の状態確認） 38
着信を制限する 38
入力信号の状態を音声で聞く 38
通報終了の条件 39
1 つの通報先を終了する条件 39
複数の「音声通報先」を終了する条件 39
音声通報のリダイヤル規制について 40

設置方法 41

設置場所を決める 41
接続工事 41
入力端子接続 41
端子台 41
信号入力部の内部回路 42
取付足 42
AC アダプタの接続 42
運転の開始 42

通報の受信 43

受信装置 43
音声通報を電話機で受信したとき 43
SMS メール通報を利用した場合 43

動作モニタ 44

表示モニタランプ 44
AC アダプタで WL21HW に電源供給しているとき 44
電源 ON（初期設定） 44

電波状態が圏内の場合（通報出来る状態）..... 44
電波状態が圏外の場合（通報出来ない状態）..... 44
電源 OFF（終了処理）..... 44
電源スイッチを OFF にするように要求しているとき..... 44
無線モジュール正常動作中..... 44
電波状態が弱いとき..... 44
復旧処理中..... 45
通報時..... 45
通報がこない場合..... 45
リダイヤル規制待機中..... 45
着信中..... 45
動作設定転送・読込中..... 45
録音・再生中..... 45

停電保証について 46

内蔵充電池..... 46
充電池の交換方法..... 46

よくある質問(Q＆A） 47

一般的なご質問..... 48
通報・設定についてのご質問..... 50
SMS メール通報についてのご質問..... 52
設定ソフトについてのご質問..... 53

こんなときには..... 55

設定ソフトウェアのアンインストール..... 55
本体を清掃するときは..... 55
電源を OFF にした時にランプがいつまでも消灯しない場合..... 56
ケースカバーの取り外しと取り付け..... 56
カバーの取り外し..... 56
カバーの取り付け..... 56

仕様..... 57

WhiteLock21HW 本体..... 57
設定ソフトウェア..... 57

外形図 58

本体..... 58
AC アダプタ..... 59

バージョン 60
履歴..... 61
付録..... 63

設定通報先一覧表..... 63
取付足穴位置台紙..... 64

索引..... 65

ご使用の前に

略称、商標について

記載の会社名または製品名は各社の登録商標です。

制限事項

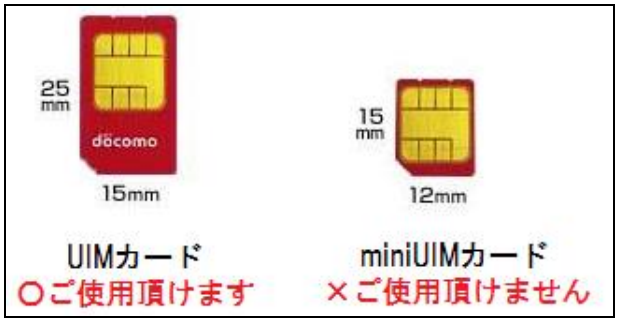
本製品は日本国内での使用を目的に設計されています。国外でのご利用は出来ません。

FOMA サービス申込み方法について

全国のドコモショップ窓口にて FOMA ご契約のお手続きをお願い致します。また、ドコモショップご来店の際には必ず本人確認書類とともに、ご購入頂きました WhiteLock21HW 本体をご持参下さい。
※製品に同梱されている『アドコン社製 WhiteLock21HW をご利用されるお客さまへ』をドコモショップへ提示して頂くと、スムーズな FOMA 回線契約が可能となります。
※本人確認書類の詳細は製品に同梱されている『アドコン社製 WhiteLock21HW をご利用されるお客さまへ』を参照下さい。
※料金プランは FOMA 総合プランの『バリュープラン』からご利用頻度に応じてお選び下さい。詳細はホームページの『ご利用料金案内』を参照下さい。
※お申し込みには本人確認書類および WhiteLock21HW 本体が必要です。本体をご持参いただいていない場合は『バリュープラン』のご契約が出来ませんのでご注意下さい。
※i モードや SP モード契約は必要ありません。

SIM カードについて

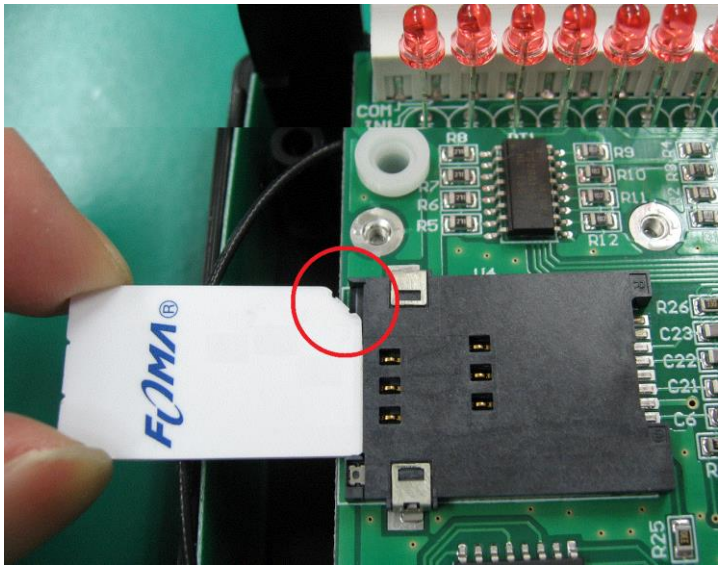
回線契約済みの SIM カードをお持ちの場合は、そのままご使用する事が可能です。（但し、音声通話が出来る回線契約済みの SIM カードに限ります）
本装置で使用可能なカードは、一般的に『SIM カード』と呼ばれているもので、ドコモ 『FOMA カード』またはドコモ『UIM カード』です。
注）ドコモ『miniUIM カード』は使用できませんのでご注意ください。



※『UIM カード』や『miniUIM カード』はピンク色以外の物もあります。
※ドコモショップにて、『miniUIM カード』から『UIM カード』への交換が可能です。**（有料）**
※『miniUIM カード』を『UIM カード』サイズに変換するアダプタも市販されていますが、ドコモが推奨していない為、動作の保証はいたしません。
※MVNO（ドコモ回線を利用した MVNO も含む）で本製品を使用した場合は、動作保証対象外となります。また、サポート及び修理も出来かねますのでご了承下さい。

SIM カードの挿入について

1. 『ケースカバーの取り外しと取り付け』(56 ページ)を参照しながら取り外します。
2. SIM カードを挿入するときは、図のように SIM カードの印刷面を上にして差し込んでください。
   赤丸で囲んだカードの切り欠きに注意してカードを挿入します。押してロックします。もう一度押すとロックが外れて抜き取れます。
3. カード挿入後は、『ケースカバーの取り外しと取り付け』(56 ページ)を参照しながらケースを取り付けてください。



注 1) データ、SIM カードの破損を防ぐ為、電源が ON の時に SIM カードの挿抜はお止め下さい。
注 2) SIM カード（UIM カード）以外のカードの挿入はお止め下さい。『miniUIM カード』はサイズが異なるので、取り出せなくなる恐れがあります。
注 3) MVNO カード（ドコモ回線を利用した MVNO カードも含む）で本製品を使用した場合は、動作保証対象外となります。また、サポート及び修理も出来かねますのでご了承下さい。
注 4) SIM カードに PIN1 コードの設定による利用制限が設定されていますと、本装置を利用できません。
SIM カードをお手持ちの携帯電話機に挿入して『PIN1 コード入力設定』を OFF にして下さい。
※メニュー→本体設定→ロック・セキュリティ→UIM(FOMA)カード設定→PIN1 コード入力設定→OFF
※携帯電話機での設定変更が難しい方は、ドコモショップへご依頼下さい。

本体の操作について

●電源プラグを差し込む時は、WL21HW の電源スイッチを OFF にした状態で差し込んでください。
●設定ソフトで設定を行った後は、実際に発信させて通報動作を確認して下さい。
●出荷状態では動作設定がされていません。この状態では入力信号が「有り」になっても通報しません。

本体内蔵の充電池について

●出荷時には完全に充電されておりませんのでご注意ください。
●内蔵電池の交換方法は 46 ページを参照下さい。

電源操作

電源を入れる（電源スイッチ ON）

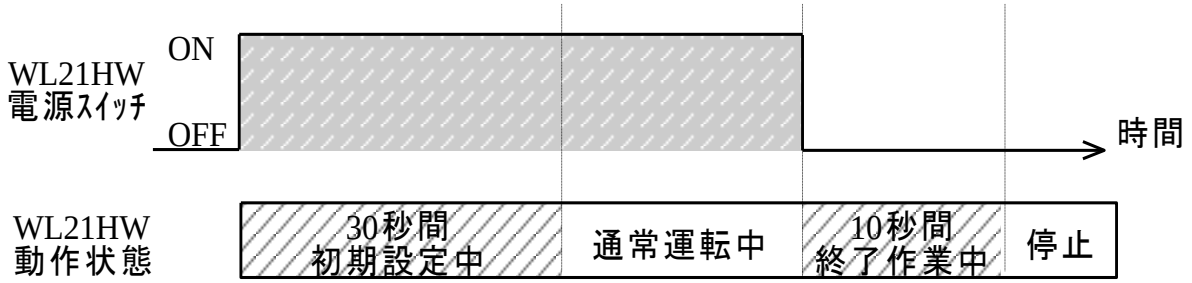
運転開始状態になるまでは 20～30 秒かかります。（初期設定中）

1. 本体の DC-IN(緑ランプ)が点灯していることを確認します。
注）点灯しない場合は、AC アダプタが商用 AC100V コンセントに差し込んであるか、DC プラグが本機に差し込んであるかを確認ください。どちらも差し込んである場合に点灯しない場合は、コンセントに商用電源 AC100V が来ていません。
2. 電源スイッチを ON にスライドすると POWER(緑)が点灯します。
次に REC/PLAY（青）が 1 回点滅した後、LP1(黄)・LP2(赤)が点灯します。その後 STATUS(白)が点滅を開始します。
※本体 Ver1.05 までは、電源 ON 時の REC/PLAY（青）1 回点滅はしません。
3. しばらくして MODE(青)が点滅を開始し、STATUS(白)が消灯します。LP1(黄)・LP2(赤)も消灯します
注）ここで MODE(青)が点滅せず、LP2（赤）・REC/PLAY（青）が低速点滅し始めた場合は、下記の理由で電源を OFF にするよう要求します。電源を OFF にして下さい。
・障害発生の時。
・SIM カードを挿入していない場合や、SIM カードに「PIN1 コード」が設定されている場合。
（SIM カードの挿入方法と、「PIN1 コード」の解除方法は 9 ページを参照下さい。）
※3. で STATUS(白)が点滅を繰り返し、MODE(青)が点滅しない場合は電波が圏外です。
※初期設定中は通報ができません。運転開始状態になった時点より警報の状態に応じて通報を行います。
※LP1(黄)・LP2(赤)が消灯、MODE(青)が点滅しているときは正常運転状態です。通報中でないときは、録音再生もできます。
※内蔵電池が満充電であっても、DC-IN(緑ランプ)が点灯していないと電源は入りません。
※WhiteLock21HW_ANT（アンテナオプション付）は、小型防滴アンテナを接続した状態で電源を入れて下さい。小型防滴アンテナを接続されていませんと、通信出来ず圏外状態になります。

電源を切る（電源スイッチ OFF）

終了作業に約 10 秒程度かかります。

1. 電源スイッチを OFF にスライドすると、LP1(黄)・LP2(赤)・REC/PLAY（青）が高速点滅した後、点灯に変わり終了作業が開始されたことを知らせます。
2. しばらくすると LP1(黄)・LP2(赤)・REC/PLAY（青）は消灯し、 本機の電源が OFF になり POWER ランプが消灯します。
※DC-IN（緑ランプ）は外部電源が供給中は点灯しています。
※電源スイッチの ON・OFF 操作を一定時間空けずに繰り返し行うと故障する可能性があります。電源スイッチを OFF にしてから終了作業が終わるまでは、電源スイッチを ON にしないでください。
※電源スイッチを OFF にして、終了作業中に電源を ON にすると、LP1(黄)・LP2(赤)・REC/PLAY（青）が点灯します。このときは電源を OFF にして下さい。
※電源を OFF にした時に DC-IN（緑ランプ）以外のランプがいつまでも点灯する場合は、56 ページを参照下さい。



※WL21HWの動作状態が 初期設定中・終了作業中 は電源スイッチの ON・OFF操作を行わないで下さい。

製品概要と特徴

概要

本製品は　FOMA 無線モジュール（FOMA ユビキタスモジュール）「UM01-HW」を内蔵した通報装置です。株式会社 NTT ドコモの FOMA サービスを利用して通報を行います。本製品をご利用になるためには、FOMA 回線契約を行い、FOMA カード(SIM カード)を内部ソケットに装着する必要があります。

本製品には、電気通信事業法　第 56 条　第 1 項の規定に基づく端末機器の設計について認証を受けた下記の設備が組み込まれています。
機器名称：UM01-HW　認定番号：AD090995003

本製品には、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規制　第 2 条　第 1 項　第 11 号の 3 に規定される以下の設備が組み込まれています。
機器名称：UM01-HW　工事設計認証番号：001XYAA1632

特徴

・電話回線が無い場所で使用が可能
FOMA 無線を使用して通報しますので、固定電話回線が引けない場所でも使用できます。
制御盤内に本機を取り付ける場合は、WhiteLock21H_ANT（アンテナオプション付）をご利用ください。（13 ページ参照）

・状態の確認が可能
「WL21HW」に固定電話や携帯電話から電話をかけ、現在の信号入力の状態を音声メッセージで確認できます。また、発信者番号で着信の受付を制限することもできます。

・接点入力 8 点
入力点数が 8 点あり様々なセンサーや機器類が接続できます。

・外部入力毎に IC 録音された内容で自動通報
圧縮無し直接録音方式で音質良好です。録音は何度でも可能、録音内容は半永久的に保持します。

・音声通報専用の通報先最大 6 ヵ所
警報毎に通報先の指定が可能です。

・SMS メール通報専用の通報先電話番号最大 6 カ所
警報毎に通報先の指定が可能です。

・入力信号の選択が可能
入力が短絡状態になったときに通報するか、開放状態になったときに通報するか、入力毎に設定が可能。動作設定ソフトの所定箇所にチェックを入れるだけで切り替えできます。

・音声通報の場合は、通報終了の条件も指定可能
「通報先の何処か 1 ヵ所に通報できたら終了」または「すべての通報先に通報したら終了」が選択できます。

・停電保証 10 分
内部タイマーにより 10 分経過すると、連続して発生する停電に備えて自動的に電源を切ります。

・停電・復電通報を標準装備
停電･復電通報は､動作設定ソフトでチェックを入れるだけです｡外部から停電信号を接続する必要がありません。
また、内蔵バックアップ電池の残量に関係なく自動電源オフした後でも復電時には復電通報を行います。

・小型で制御盤内への組込が容易
本体重量は約 300g と軽量です。本体サイズも非常にコンパクトなので制御盤内への取り付けも簡単に行えます。
また、取付足と取付用ケースビスも付属しています。

・設定用パソコンソフト（Windows XP、7 、8 用）
最新の動作設定ソフトは、弊社製品サイトからいつでもダウンロードしてご利用できます。
インストール・設定はとても簡単です。また製品には USB 通信ケーブルも標準添付しています。

・低価格
他社の半分以下の超低価格。もう通報装置にお金をかける必要はありません。

パッケージ内容

製品をご使用になる前に、パッケージに以下のものが全て揃っているか確認してください。不足しているものがございましたら、お買い上げの販売店、または弊社までご連絡ください

名称	
WL21HW 本体 (FOMA 無線モジュール内蔵)	
取付足 （取付専用ケースネジ付）	
USB 通信ケーブル (A-B)	
AC アダプタ	
停電保証充電池 （本体に内蔵済み）	
端子台（10 極） （本体に取り付け済み）	
保証書	-

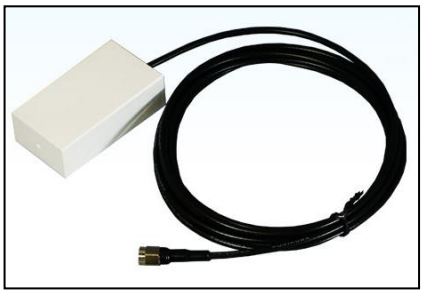
※上図は、実際のものと多少形状等が異なる場合がありますのでご了承ください。

※取扱説明書は本製品には付属しておりません。

取扱説明書は製品ページから最新版をダウンロードしてお使い下さい。
製品サイト　　http://www.adocon.jp/
取扱説明書（モノクロ A4 版）を別途購入して頂くことも可能です。ご購入の際には販売店、または弊社までお問い合わせ下さい。

WhiteLock21HW_ANT（アンテナオプション付）

制御盤内に本体を設置される場合は、WhiteLock21HW_ANT（アンテナオプション付）をご購入下さい。
※WhiteLock21HW_ANT（アンテナオプション付）は、「小型防滴アンテナ」を本体に接続した状態でないと通信が出来ません。
※「小型防滴アンテナ」は付属品です。
※WhiteLock21HW_ANT（アンテナオプション付）は、外部アンテナ専用です。
※「小型防滴アンテナ」は補助アンテナではありませんので、電波の弱い場所での使用は出来ません。
※アンテナオプション付はメーカーオプションです。WhiteLock21HW に実装をご希望の場合はお問い合わせ下さい。
※「小型防滴アンテナ」の設置につきましてはアンテナ取扱説明書を参照ください。
※WhiteLock21HW_ANT（アンテナオプション付）のその他の付属品は WhiteLock21HW と同じです。（12 ページ参照）



「小型防滴アンテナ」
外形寸法　60 × 35 × 20mm
同軸ケーブル長　約 2.5m
使用温度　-20～90℃

本体バージョンによる動作の違い

WL21HW 本体バージョンの最新は Ver1.20 です。
（設定ソフトで本体バージョンの確認が可能です。確認方法は 26 ページを参照下さい）

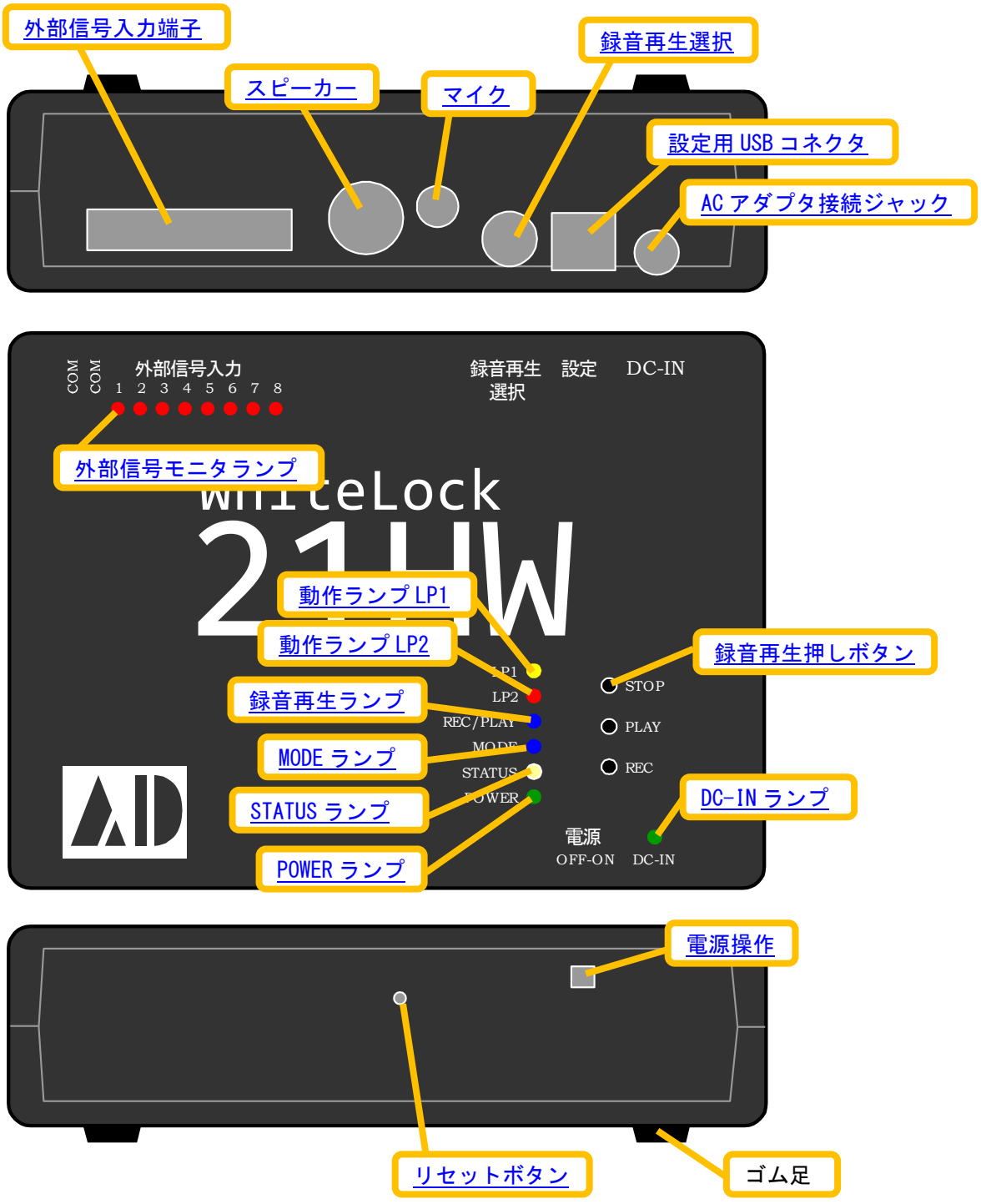
・Ver1.08 以前の場合
音声通報の全解除にチェックが入っていない場合、一度発生した警報（通報済み）が再度発生しても通報を行いません。全解除にチェックが入っている場合、全解除通報後の警報発生については通報を行います。

・Ver1.09 の場合
音声通報の全解除にチェックが入っていない場合、一度発生した警報（通報済み）が再度発生すると通報を行います。全解除にチェックが入っている場合、全解除通報後の警報発生については通報を行います。

・Ver1.10 の場合
SMS 通報は、一度発生した警報（通報済み）が再度発生しても通報を行いません。全体の設定の『SMS 個別解除呼び出し』チェックを入れると再度通報を行います。

各部の名称とその機能

本体外観



動作設定

WL21HW は、ご利用の前に通報動作に必要な条件、電話番号などを登録しておく必要があります。設定を行っていない WL21HW は、電源を入れてもご利用になれません。この登録は、パソコンにインストールした「設定ソフトウェア (Windows XP/ 7/ 8 用)」で行います。登録した内容を WL21HW に転送する際には、インストールした USB ドライバが必要です。設定ソフトウェア、USB ドライバは弊社ホームページからいつでもダウンロードできます。
ご自分で設定ができないときは、パソコンを持っている方にお願いするか、弊社に設定をご依頼ください。また、ご購入後の設定変更も承ります（どちらも有料で、別途送料が必要です）。

設定ソフトのインストール

設定ソフトをパソコンにインストールするためには、インストーラーソフトを入手する必要があります。
＊下記は Windows7 (Professional サービスパック 1) で確認しています。他の環境では、動作や表示が異なる可能性があります。

ホームページから「ダウンロード」する方法

※ソフトウェアをインストールする前に、実行中のアプリケーションを全て終了して下さい。

①弊社ホームページのトップ画面の「ダウンロード」を選択します。

②ダウンロード画面では、「設定ソフト」を選択します。

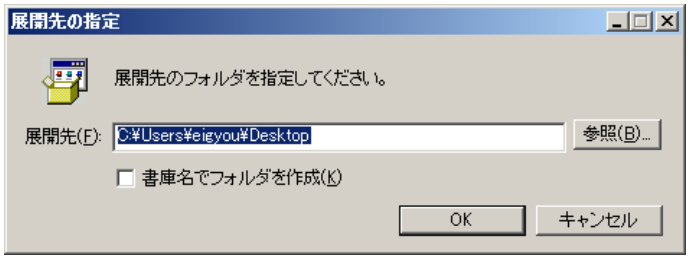
③「設定ソフト」画面では、「WhiteLock21HW」を選択します。

④「設定ソフト README.txt」を開き、インストール方法の内容を確認して下さい。

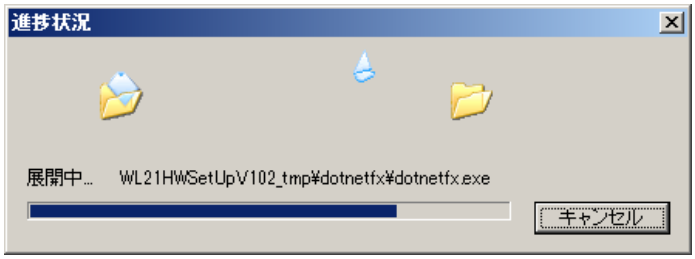
⑤「設定ソフトダウンロード」をクリックすると、下記画像が表示されますので、「実行」を選択します。

⑥次に、下記画面が表示されますので、「実行」を選択します。

⑦展開先のフォルダを指定します。このまま、「OK」をクリックします。
※ここではデスクトップを展開先に指定します。

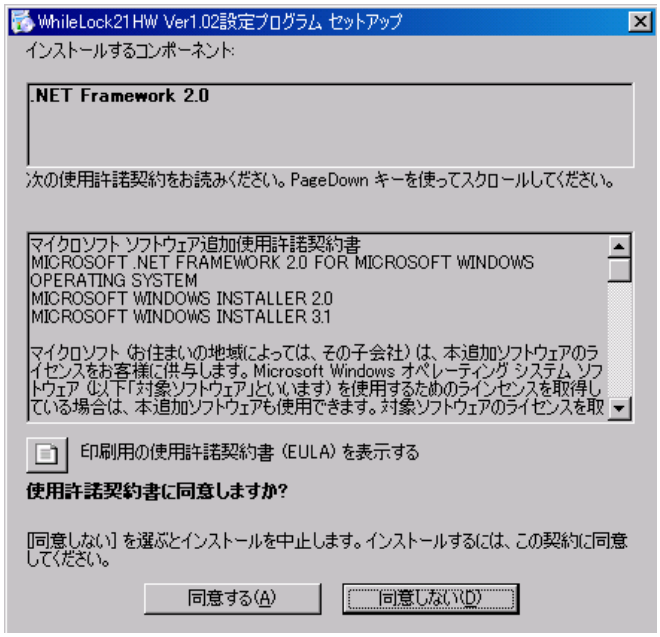


⑧設定ソフトがデスクトップ上に「WL21HWSetUpV102_tmp」フォルダを作成し、その中にインストールに必要なファイルを解凍します。

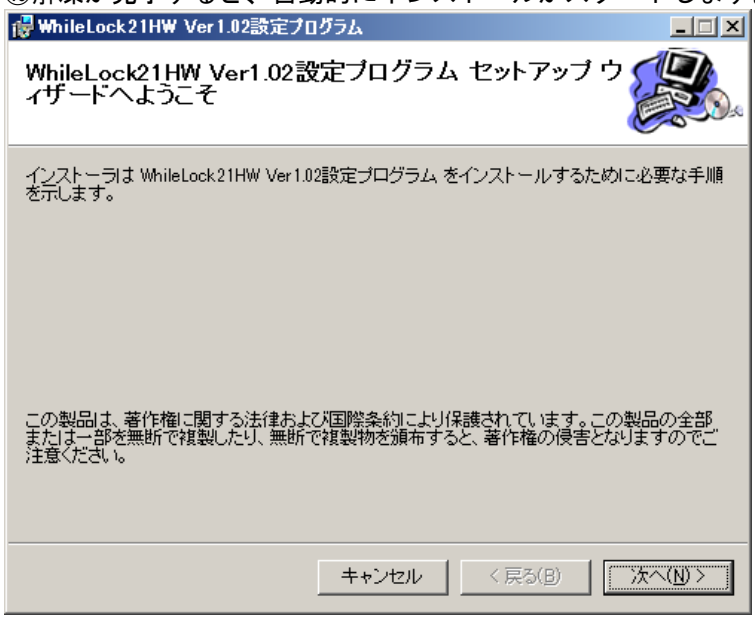


⑨お使いのパソコンに「.NET Framework」のバージョンがインストールされていない場合、下記の画面が表示されます。「同意する」をクリックすると「.NET Framework 2.0」のインストールが開始します（完了するまでに数分かかります）。

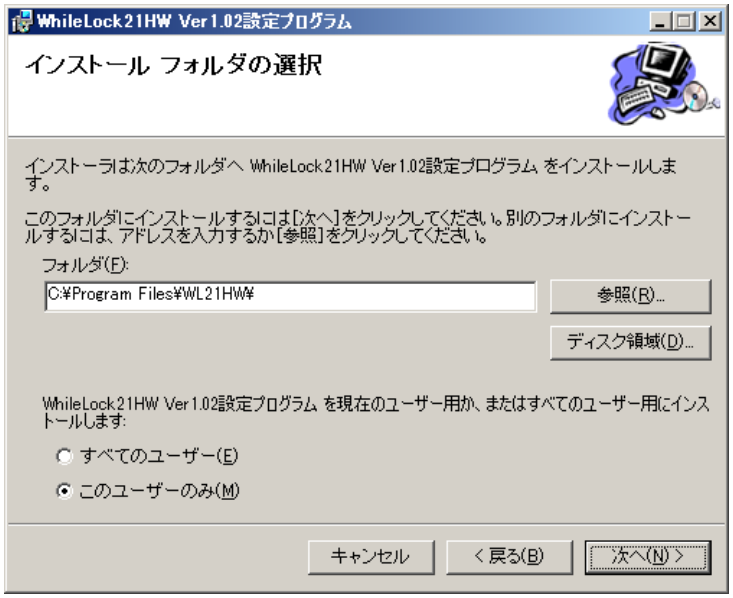
※「.NET Framework」が既にインストールされているパソコンの場合は、下記画面は表示されません。



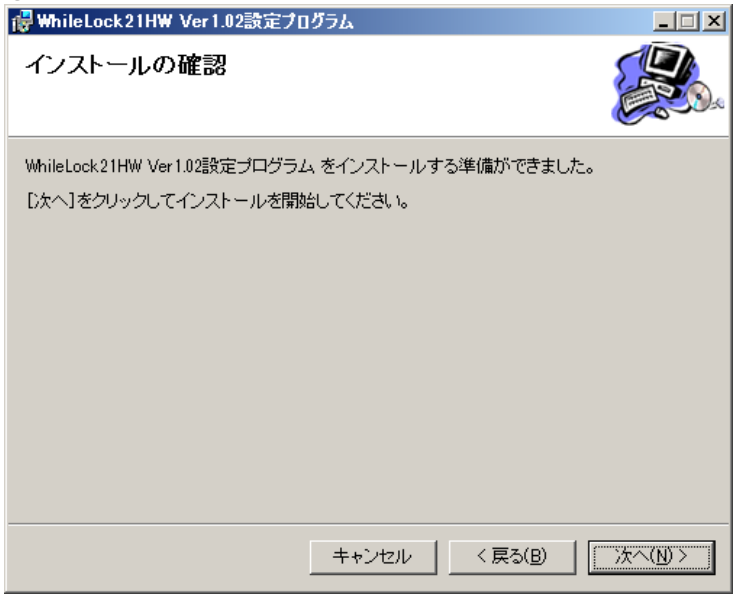
⑩解凍が完了すると、自動的にインストールがスタートします。「次へ」をクリックします。



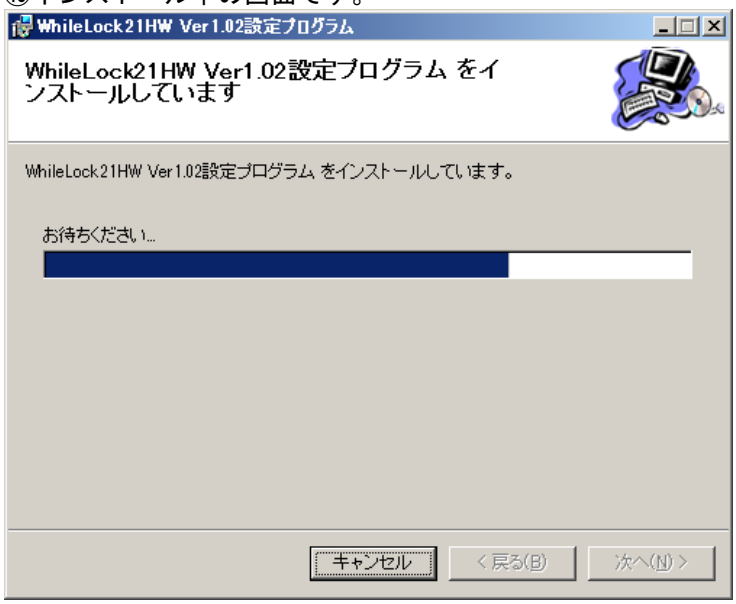
⑪インストール先のフォルダを確認します。そのまま「次へ」をクリックします。
※インストール先のフォルダは、必ず OS 直下のフォルダを指定します。



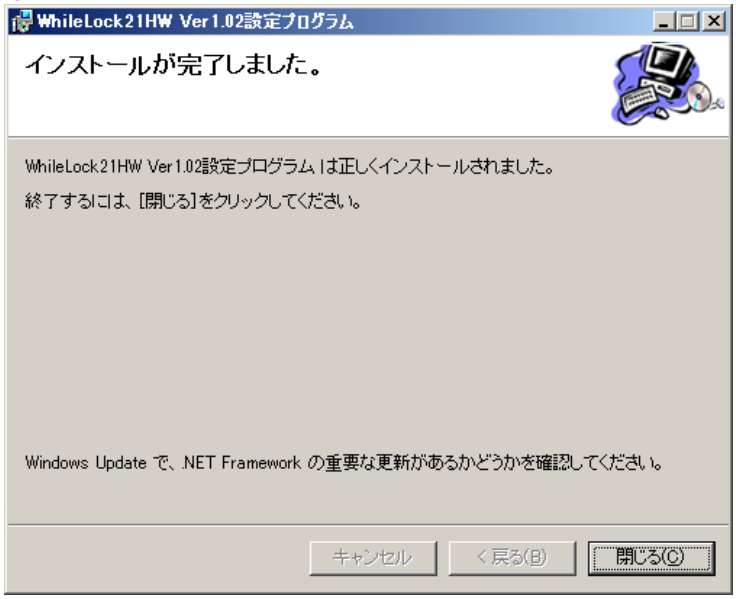
⑫インストールの確認画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。



⑬インストール中の画面です。

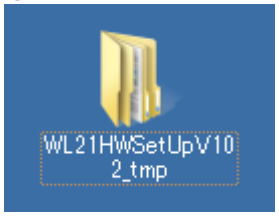


⑭インストール完了画面です。「閉じる」をクリックして下さい。



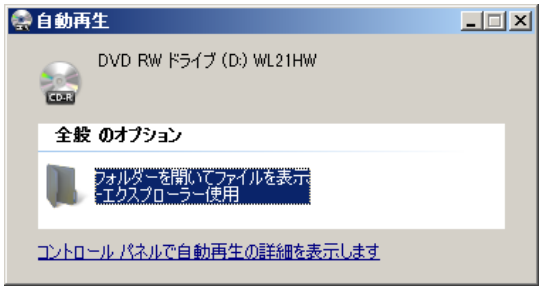
⑮デスクトップとプログラムに設定プログラムのショートカットが作られています。

⑯デスクトップにある「WL21HWSetUpVer102_tmp」は不要ですので、インストール完了後に削除して下さい。



CD からインストールする場合

※ソフトウェアをインストールする前に、実行中のアプリケーションを全て終了して下さい。
CD をドライブに入れると、自動再生画面が出ます。「フォルダを開いてファイルを表示…」を選択し、
「WL21HWVer1.02.exe」をダブルクリックします。
「ホームページからダウンロードする方法」の⑦と同じ画面が表示されます。
手順は同じですので、15 ページを参照下さい。
*Verxx は改版された場合は本説明と異なります。



USB ドライバのインストール

設定ソフトで設定した内容を本体に転送するには専用のデバイスドライバのインストールが必要です。
※ドライバをインストールする前に、実行中のアプリケーションを全て終了して下さい。

弊社ホームページの「ダウンロード」画面を開きます。
①弊社ホームページのトップ画面から、下記を選択します。
「ダウンロード」→「設定ソフト」→「USB ドライバ」

②「USB ドライバのインストール方法 PDF」を選択し、内容を確認して下さい。
※インストール方法は印刷して、お手元に置いた状態でのインストールをおすすめします。
※このインストール方法の説明(PDF 形式)は、表示された画面の「ファイル」－「名前を付けて保存」で任意のフォルダに保存しておくことが出来ます。

インストール時には WhiteLock21HW 本体と付属の USB 通信ケーブルが必要です。
インストールを行うときは本体に AC アダプタを接続しないでください。

Windows7 , Windows 8 での自動インストール

ダウンロード画面の「USB ドライバのインストール方法 PDF」を参照下さい。
※自動インストールは、パソコンがインターネット高速回線(光回線又は ADSL 回線)に接続されていなければ出来ません。

設定に使用するパソコン

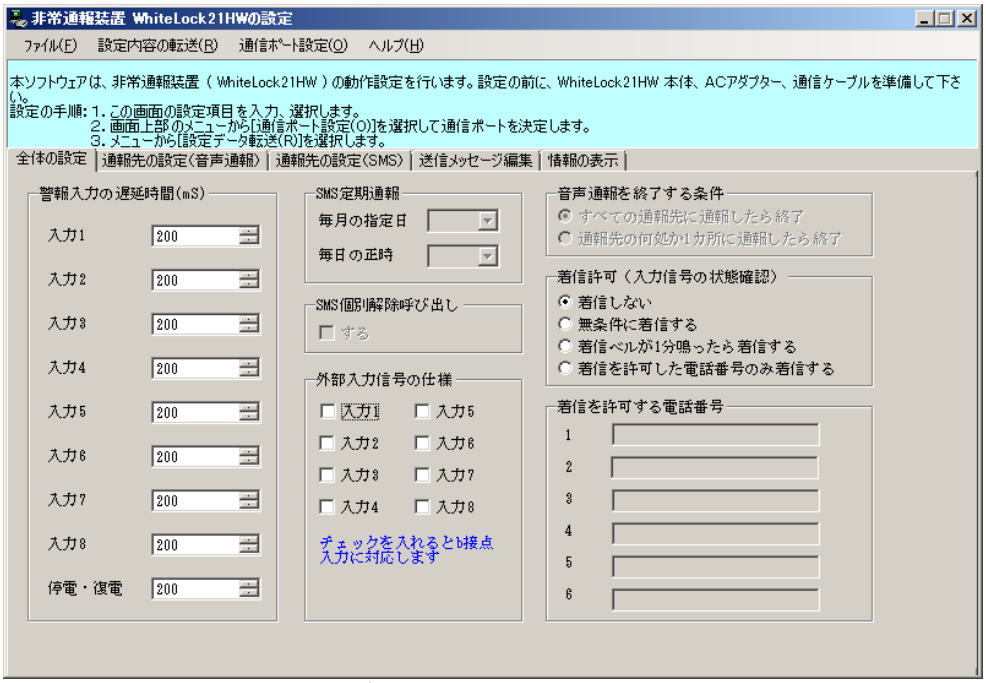
設定を行う場合、下記仕様のパソコンが必要です。

CPU	Pentium150MHz 以上
OS	日本語 Windows XP　Windows 7　Windows 8
ハードディスク	インストールに 7M バイト程度の空きエリアが必要
メモリ	実装メモリ 64M バイト以上
モニタ	解像度 800×600 ドット以上が表示可能なカラーディスプレイ
ビデオカード	800×600 ドット以上で、256 色以上が表示可能なもの
USB ポート	USB ケーブル（設定内容を本体に転送する時に使用）

＊USB ケーブルは本製品に付属しています。
＊既にインストール済みのソフトウェアやハードウェアの設定、その他の状況により、設定ソフトが正常に動作しない場合もあります。
＊弊社ホームページから WL21HW 設定ソフトウェアと USB ドライバをインストールしてからご使用下さい。
http://www.adocon.jp/

設定ソフトウェアの起動

デスクトップ上の「WhiteLock21HW Ver1.02 設定プログラム 」を選択し、設定ソフトウェアを起動して下さい。「WL21HW」の設定画面は、「全体の設定」「通報先の設定（音声通報）」「通報先の設定（SMS）」「送信メッセージ編集」「情報の表示」があります。中央上の「タブ」をクリックして 5 つの画面を切り替えます。

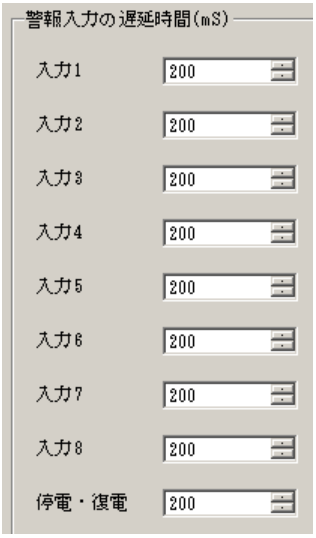


画面の各設定項目上にマウスポインタを移動させると、項目毎の説明が表示されます。
※「WL21HW」への転送は何回でも行えますので、最初は練習のつもりで色々と変えて転送してみてください。
※設定内容を付録の「設定通報先一覧表」63 ページに記載しておくと、便利です。

全体の設定

警報入力の遅延時間（mS）

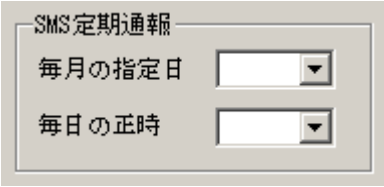
入力信号の遅延時間を入力信号毎に設定出来ます。また、停電・復電の遅延時間も設定出来ます。



※時間の設定は 200mSec（0.2 秒）～ 3000000mSec（50 分）
【 1 秒＝1000mSec 1 分＝60000mSec 】
※『停電・復電』は 200mSec（0.2 秒）～ 300000mSec（5 分）
※初期値は 200mSec（0.2 秒）
※警報発生、警報解除の両方が時間カウントの対象になります。
※通報中もカウントし続けますので、通報が終了した時の判定結果が警報発生であれば通報を開始します。
※設定した遅延時間は、設定時間に関係なく 4 秒程度遅れることがあります。

SMS 定期通報

『通報先の電話番号（SMS）』の通報先に『定期通報』へチェックが付いていると設定出来ます。
定期通報は、毎月 1 回または毎日 1 回の指定が可能です。



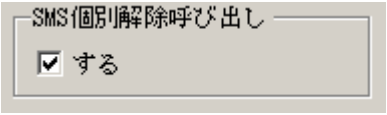
・毎月 1 回に設定する場合
『毎月の指定日』1 日～28 日から選択下さい。（30 日 31 日はありません）
通報する時刻を『毎日の正時』0 時～23 時から選択下さい。（毎正時に通報されます）

・毎日 1 回に設定する場合
『毎日の正時』0 時～23 時から選択下さい。（毎正時に通報されます）

※時刻については、60 秒～120 秒程度の遅れが生じることがあります。
※通報中や着信中、着信待機中などに定期通報時刻が到来しても、定期通報は後回しになる為、遅れを生じる場合があります。
※定期通報に設定された日時に WL21HW の電源を ON した場合、正時でなくても定期通報を行います。電源を ON にしてから設定した時刻が経過すればこの現象は発生しなくなります。

SMS 個別解除呼び出し

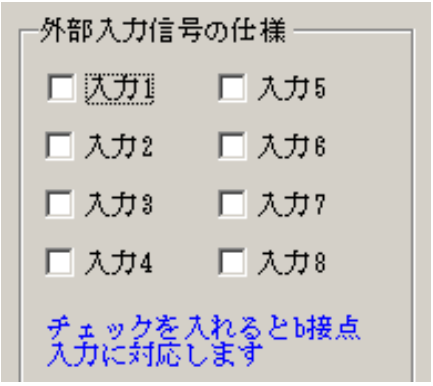
『通報先の電話番号（SMS）』の通報先に『入力 1～8』のどこかへチェックが付いていると設定出来ます。

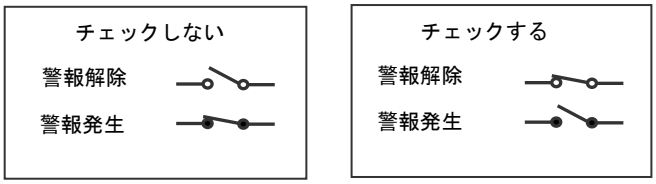


※個別解除通報は、SMS 通報先全てに対して「する」「しない」を設定します。
※SMS 通報先毎に個別解除を設定することは出来ません。
＊本体 Ver1.10 の SMS 通報は、一度発生した警報（通報済み）が再度発生しても通報を行いません。再度通報が必要な場合は『SMS 個別解除呼び出し』にチェックを入れて下さい。

外部入力信号の仕様

各入力信号の仕様を設定します。
□内チェックを入れないと、a 接点仕様になります。
□内チェックを入れると、b 接点仕様になります。



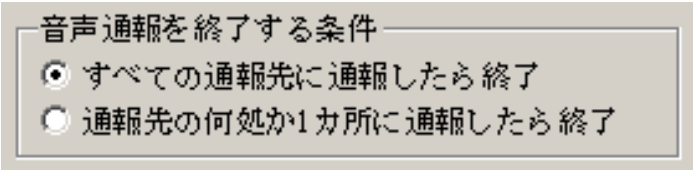


・「警報発生」のときに短絡する信号を出力する場合はチェックを入れません。
（a 接点/ノーマル・オープン接点/メイク接点など）
・「警報発生」のときに開放する信号を出力する場合はチェックを入れます。
（b 接点/ノーマル・クローズ接点/ブレーク接点など）

※初期値ではチェックは付いていません。（a 接点）
※本体の外部信号入力ランプは、**外部信号が短絡した時に点灯します。**
※b 接点（チェックを入れた場合）の警報発生時の入力信号モニタランプは消灯状態です。警報解除時に点灯します。

音声通報を終了する条件

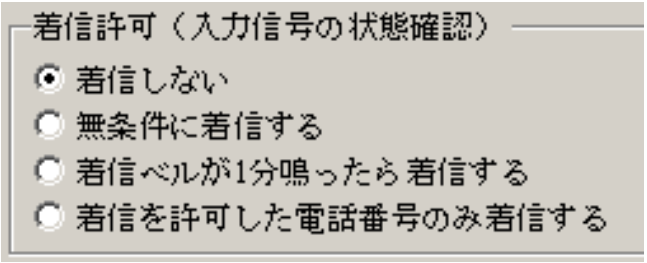
音声通報を終了する条件を設定します。



〇すべての通報先に通報したら終了・・・音声通報先すべてに正常通報すると終了します。
※通報先側が受話器を上げ、120 秒以内に通報先側から電話を切った場合に、正常通報します。
※但し、通報を開始してから 30 分経過すると通報が正常に行われていない場合（話中や圏外）でも終了します。
〇通報先の何処か 1 ヶ所に通報したら終了・・・音声通報先の何処か 1 ヶ所でも正常通報すると終了します。
注)監視する信号が同じ通報先が 2 ヵ所以上に設定してある場合に限ります。通報先が 2 ヵ所以上設定してあっても、監視する信号が同じでなければ選択できません。
※通報先側が受話器を上げ、120 秒以内に通報先側から電話を切った場合に、正常通報します。
※但し、通報を開始してから 30 分経過すると通報が正常に行われていない場合（話中や圏外）でも終了します。

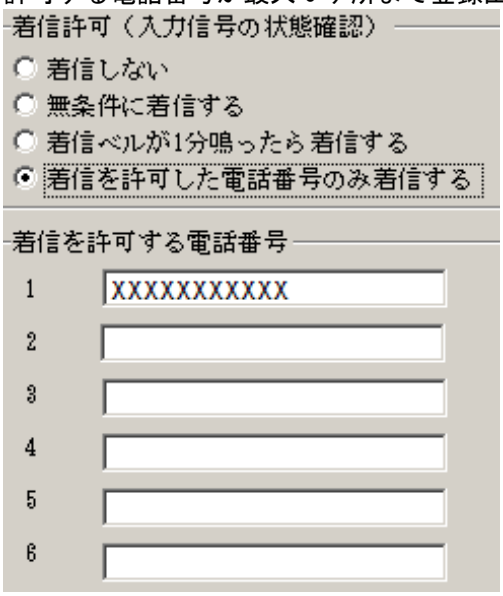
着信許可（入力信号の状態確認）

WL21HW に挿入した FOMA カード番号に電話を掛けると WL21HW が自動着信し、入力信号の状態を音声で確認する事ができます。
着信の許可を設定出来ます。
〇着信しない　・・・　着信しません。掛けた側には話中の音が聞こえます。
〇無条件に着信する　・・・　掛かってきた電話はすべて着信し、入力信号の状態が音声で流れます。
〇着信ベルが 1 分鳴ったら着信する　・・・　1 分間呼び出し音が続くと、すべて着信します。
〇着信を許可した電話番号の着信する　・・・　許可した電話番号のみ着信します。



着信を許可する相手先番号

『着信許可（入力信号の状態確認）』で『着信を許可した電話番号のみ着信する』にチェックを付けた場合、着信を許可する電話番号が最大 6 ヶ所まで登録出来ます。

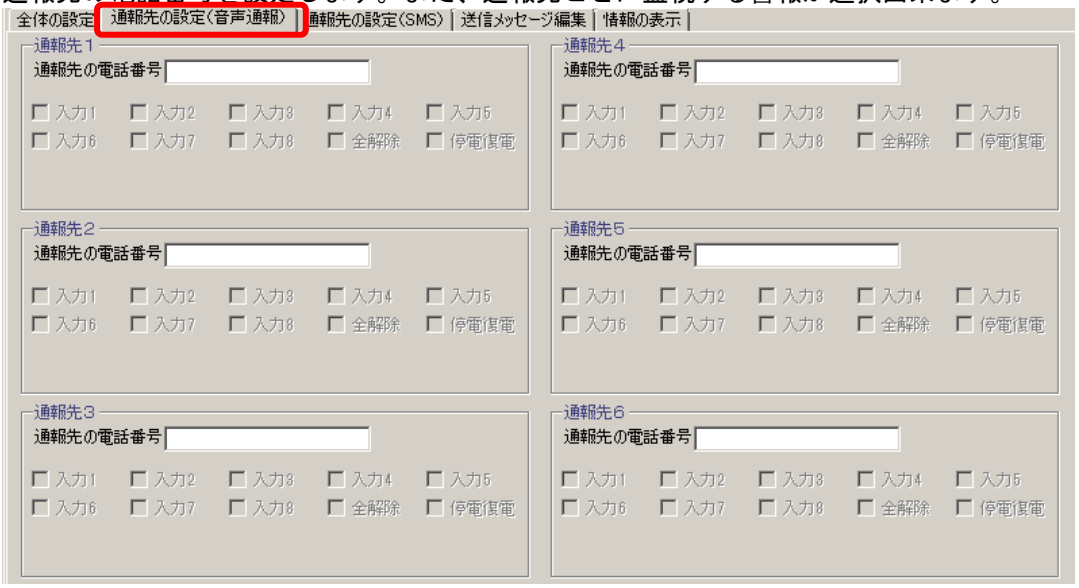


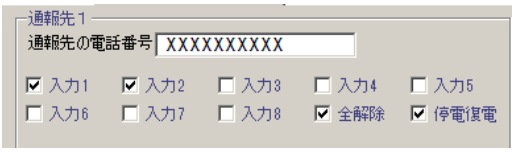
※ここに登録されていない電話番号から掛かってきた場合、掛けた側には話中の音が聞こえます。
※許可する電話番号は、固定電話・携帯電話・PHS が可能です。
※一般回線の場合は、市外局番から入力して下さい。

通報先の設定（音声通報）

通報先の電話番号

通報先の電話番号を設定します。また、通報先ごとに監視する警報が選択出来ます。

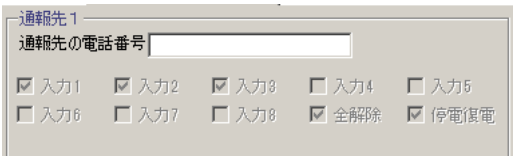




①通報先の一般回線電話機、携帯電話機、PHS の電話番号を入力します。
・通報先 1→通報先 2→通報先 3...と順に通報を行います。（通報は監視する入力が該当する通報先に限る）
・通報先 1 から順に設定して下さい。通報先 1 や通報先と通報先の間を空欄にしないで下さい。
・電話番号は 14 桁入力出来ます。
・固定電話機への通報は、市外局番より入力して下さい。
・数字以外は入力出来ません。
・発信者番号を通知する場合は、電話番号の先頭に「186」を入力します。

②監視する入力信号にチェックを入れます。
「全解除」・・・入力信号 1～8 の警報が全て解除した場合に通報します。（復電は含まれません）
チェックを入れていない入力信号も含めて通報するので注意が必要です。
＊本体 Ver1.08 以前では、全解除にチェックが入っていない場合、一度発生した警報（通報済み）が再度発生しても通報を行いません。本体 Ver1.08 以前に限り、Ver1.09 へのバージョンアップは無償で行わせて頂きます。
「停電復電」・・AC アダプタから電源供給が無くなると停電通報します。（停電保証 10 分）
電源供給が復帰した時には、復電通報をします。

【ご注意下さい】
各入力や全解除、停電復電にチェックが入った状態で「通報先の電話番号」を削除すると、下図のようにチェックが残ってしまいます。この設定では通報を正常に行えません。この場合、別の「通報先の電話番号」をクリックすると各入力などのチェックが消えます。

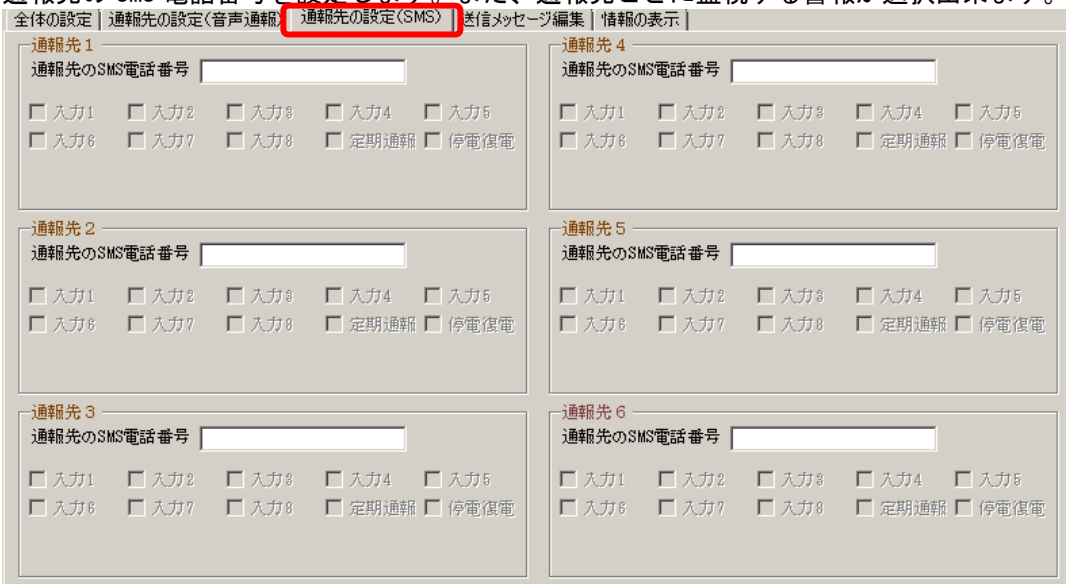


※動作設定後は、必ず全ての通報先で音声メッセージを確認してからご利用ください。
※弊社では設定間違いによる課金については一切の責任を負いかねます。

通報先の設定（SMS）

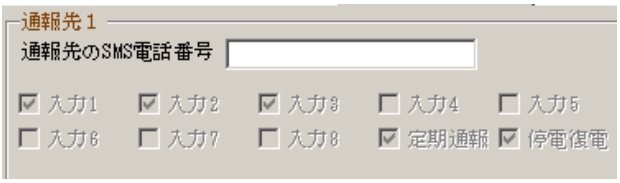
通報先の SMS 電話番号

通報先の SMS 電話番号を設定します。また、通報先ごとに監視する警報が選択出来ます。



①通報先の携帯電話機の電話番号を入力します。
・電話番号は 14 桁入力出来ます。
・数字以外は入力出来ません。
・FOMA から発信された SMS には、必ず発信者番号が通知されます。
・SMS 受信できる携帯電話先は、docomo・au・softbank・沖縄セルラー電話・イーアクセスです。
・ウィルコムは PHS の為、送信出来ません。
・『100000』のような存在しない電話番号を設定した場合でも料金が発生しますので、ご注意下さい。
②監視する入力信号にチェックを入れます。
「定期通報」・・・WL21HW が動作していることを通報します。入力の状態は通報しません。
毎日 1 回または毎月 1 回の設定が可能です。（『全体の設定』にて日時を設定）
「停電復電」・・・AC アダプタから電源供給が無くなると停電通報します。（停電保証 10 分）
電源供給が復帰した時には、復電通報をします。
＊本体 Ver1.10 の SMS 通報は、一度発生した警報（通報済み）が再度発生しても通報を行いません。再度通報が必要な場合は『全体の設定』の『SMS 個別解除呼び出し』にチェックを入れて下さい。

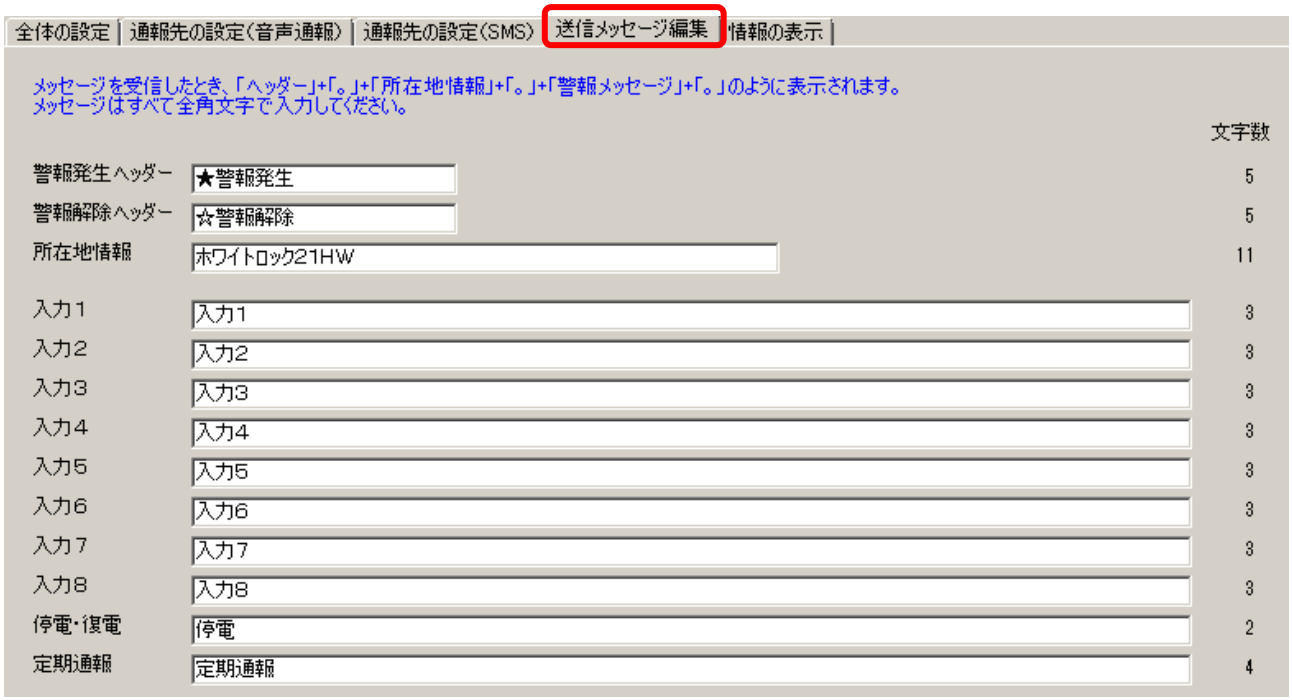
【ご注意下さい】
各入力や定期通報、停電復電にチェックが入った状態で「通報先の SMS 電話番号」を削除すると、下図のようにチェックが残ってしまいます。この設定では通報を正常に行えません。この場合、別の「通報先の SMS 電話番号」をクリックすると各入力などのチェックが消えます。



※通達確認は行いませんので、再送も行いません。
※動作設定後は、必ず全ての SMS 通報先で受信を確認してからご利用ください。
※弊社では設定間違いによる課金については一切の責任を負いかねます。

送信メッセージの編集

SMS メール通報の送信メッセージを編集します。



SMS 通報メッセージは、『入力信号 1～8』『停電・復電』『定期通報』の警報を送信します。
警報メッセージを受信した場合「ヘッダー」+「。」+「所在地情報」+「。」+「警報メッセージ」+「。」のように「。」で区切って表示されます。
例）上記内容で入力 1 の警報が発生場合の受信内容
『★警報発生。ホワイトロック 21HW。入力 1。』

「ヘッダー」（全角文字最大 8 文字）
警報発生と警報解除について個別の設定があります。「★警報発生」「☆警報解除」のような、受信時に識別しやすい内容にします。

「所在地情報」（全角文字最大 25 文字）
WL21HW を設置している現場名や機器名などにします。

「警報メッセージ（入力 1～8）」（全角文字最大 30 文字）
入力信号毎に警報の内容にします。
※警報発生や解除などの内容は、各入力信号には含めないで下さい。メッセージの最初には必ず「ヘッダー」が入りますので、各入力信号に警報発生や解除を入れるとメッセージ全体の意味合いが不明確となります。

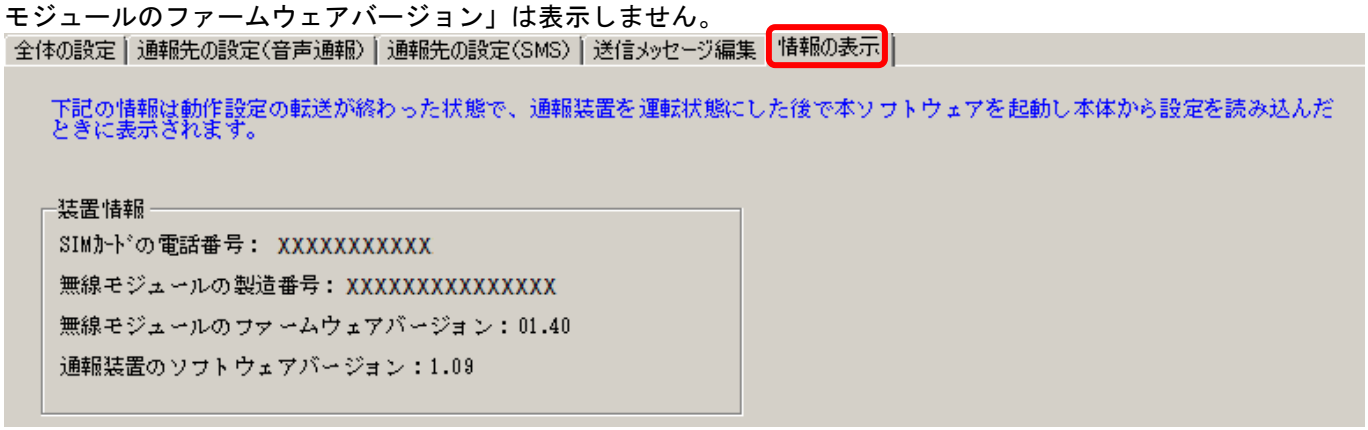
「停電・復電」（全角文字最大 30 文字）
AC アダプタからの電源供給が無くなった時のメッセージにします。
※停電時には「警報発生ヘッダー」が、復電時には「警報解除ヘッダー」が表示されます。

「定期通報」（全角文字最大 30 文字）
ヘッダーは表示されませんので、「所在地情報」+「。」+「定期通報メッセージ」+「。」になります。
例）上記内容で定期通報の受信内容
『ホワイトロック 21HW。定期通報。』

※「ヘッダー」と「所在地情報」は各警報について共用します。
※SMS メールには件名を表示する機能はありません。

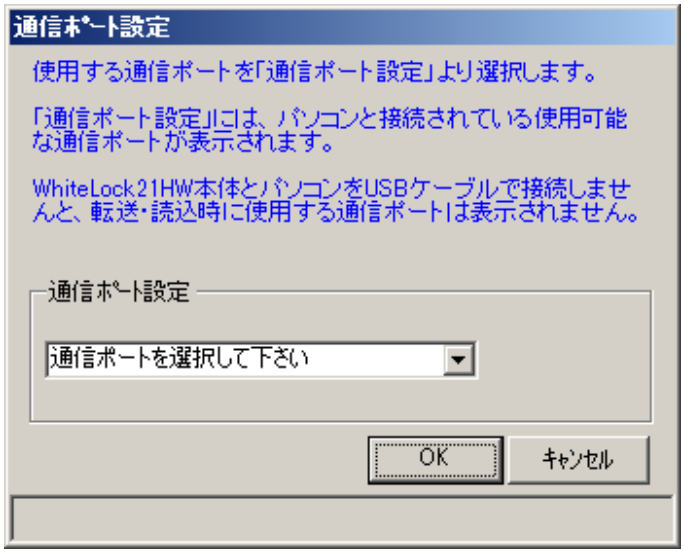
情報の表示

設定内容が転送された通報装置の設定内容を読込んだ時に、装置情報が『情報の表示』に表示されます。
無線モジュールの初期設定が終了していない場合、「SIM カードの電話番号」「無線モジュールの製造番号」「無線モジュールのファームウェアバージョン」は表示しません。

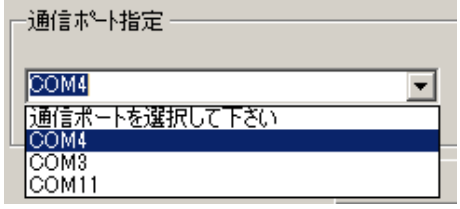


通信ポートの確認

メニューから［通信ポート設定(O)］を選択します。
設定内容を転送・読込する際に使用する通信ポートを選択する事ができます。
「通信ポート設定」には、パソコンと接続されている使用可能な通信ポートが表示されます。

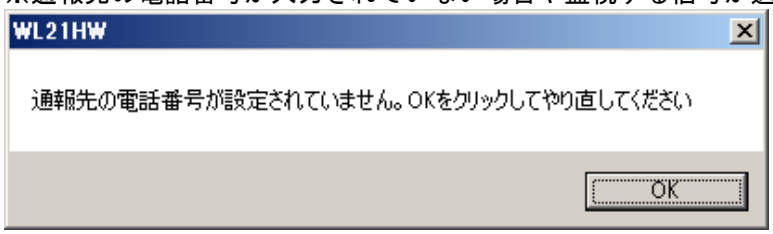


※WL21HW 本体とパソコンが USB ケーブルで接続されていませんと、転送・読込時に使用する通信ポートは表示されません。
※COM がいくつか表示された場合は、COM を表示した状態で WL21HW 本体から USB ケーブルを抜いてみて下さい。USB ケーブルを抜くと消える COM が、WL21HW で使用可能な COM です。

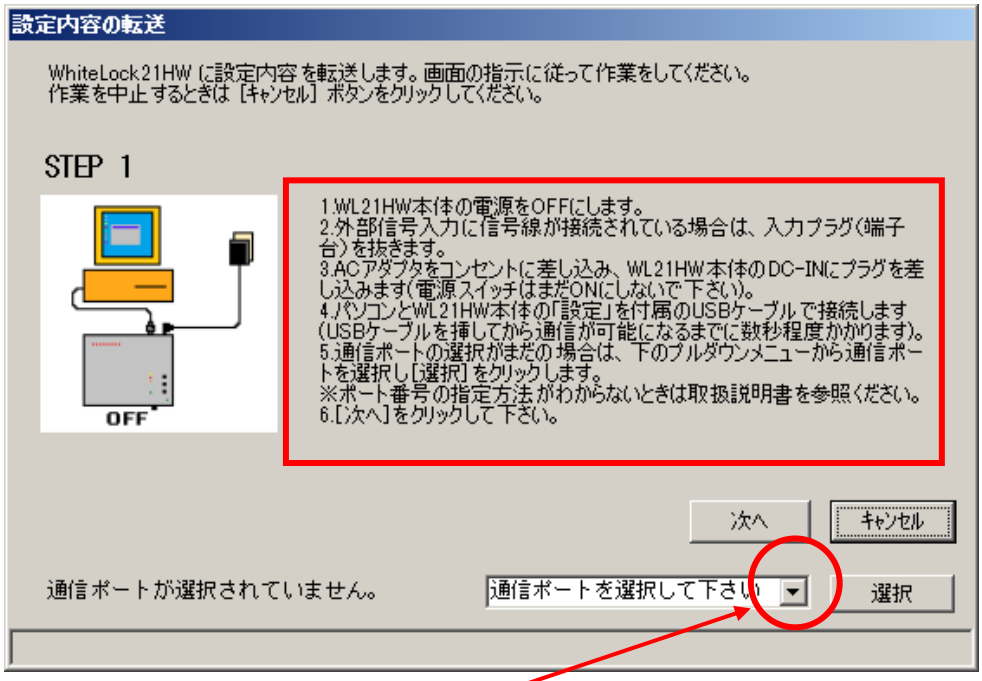


設定内容の転送

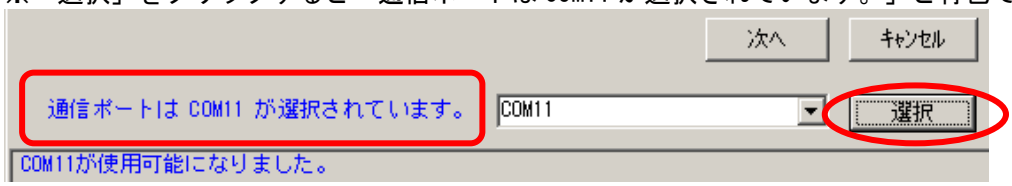
設定画面の入力が完了したら、「設定データ転送 (R)」を選択して下さい。
設定画面で、入力エラーがあったときは下図のようなメッセージが表示されます。
※通報先の電話番号が入力されていない場合や監視する信号が選択されていない場合など。



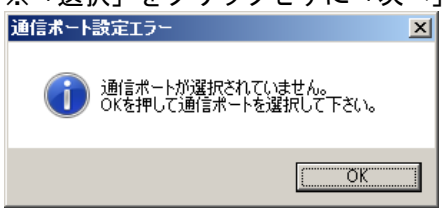
[OK] ボタンをクリックして、設定を修正してから再度「設定データ転送(R)」を選択して下さい。
設定内容の転送 STEP1 が表示されます。
画面の指示に従って WL21HW 本体とパソコンを USB ケーブルで接続します。



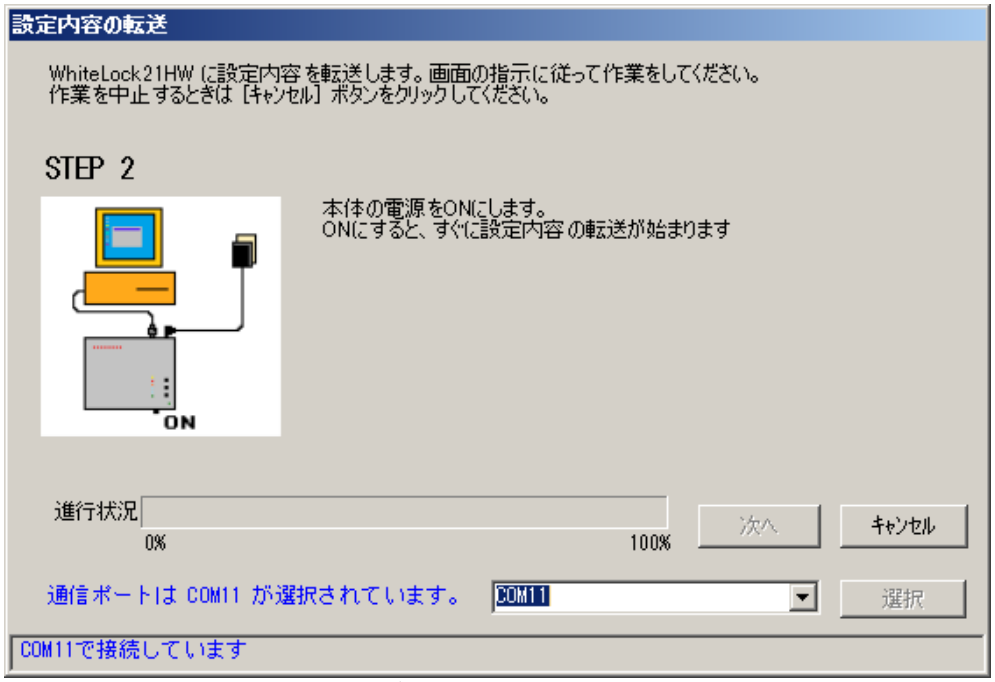
※画面にある『5.通信ポートの選択』はここから行います。
表示される COM ポートから選択し、「選択」をクリックします。
※「選択」をクリックすると「通信ポートは COM11 が選択されています。」と青色で表示されます。



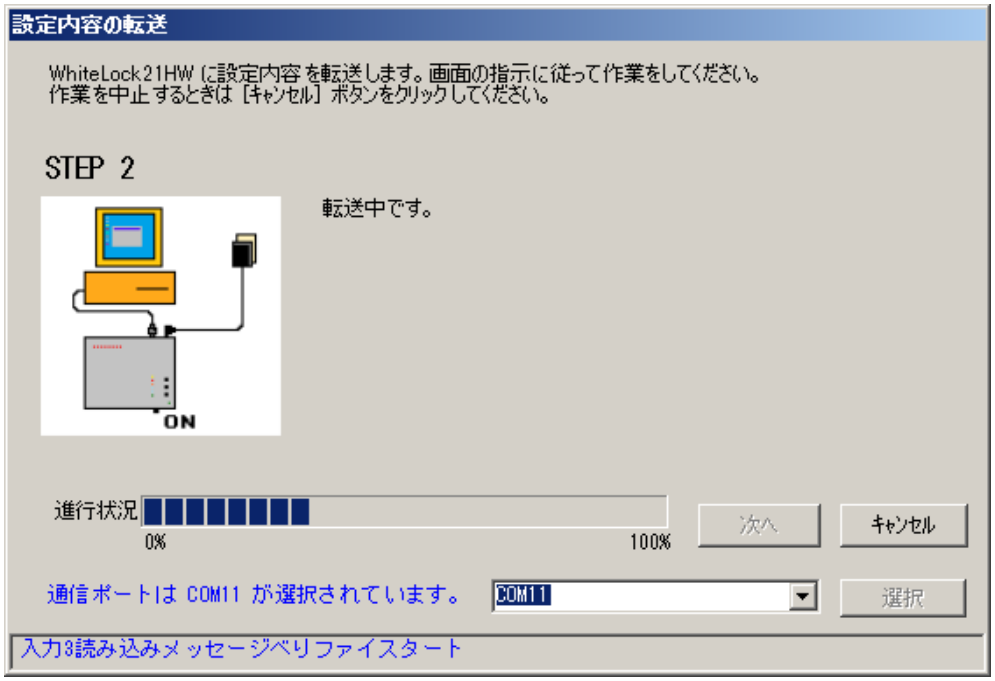
※COM が複数表示された場合は、表示した状態で WL21HW 本体から USB ケーブルを抜いてみて下さい。USB ケーブルを抜くと消える COM が、WL21HW で使用可能な COM です。USB ケーブルを差し直すと再度表示されます。
※必ず AC アダプタから電源供給をしながら転送して下さい。
※「選択」をクリックせずに「次へ」をクリックすると「通信ポート設定エラー」が表示されます。



設定内容の転送 STEP2 の画面が表示されますので、指示に従って WL21HW 本体の電源を ON にします。

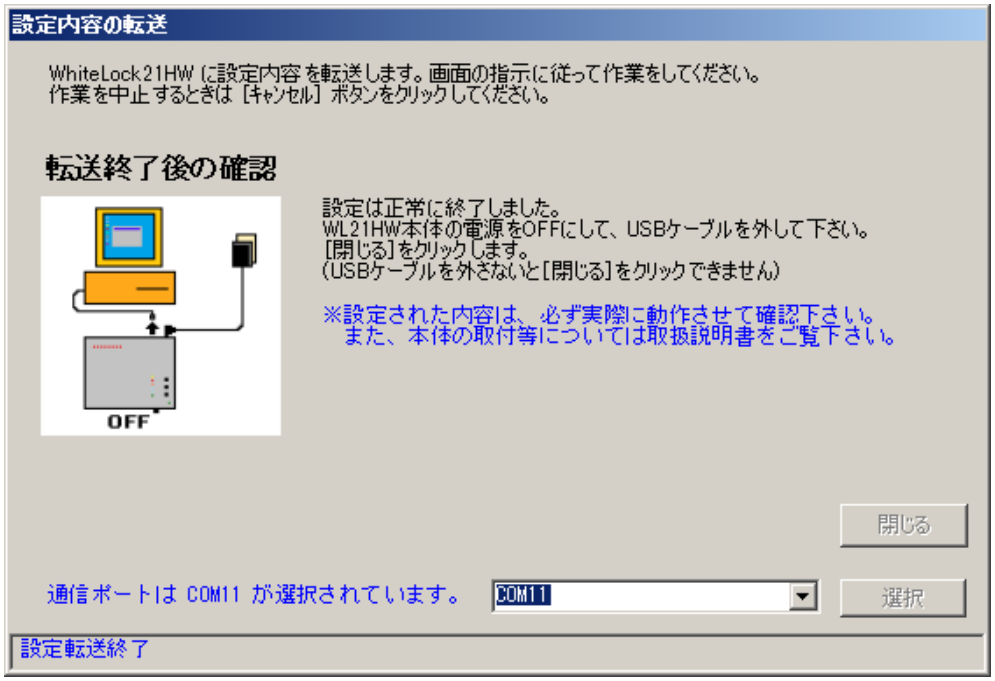


進行状態が表示され、自動的にデータの転送が開始します。
※進行状況が 100%になるまでは、電源スイッチを切ったり、USB ケーブルを抜いたりしないで下さい。
※COM ポートが間違っていると WL21HW 本体の電源を ON にしても進行状況が全く進みません。「キャンセル」をクリックし、もう一度「設定内容の転送」からやり直して下さい。
※COM ポートを確認しても転送が出来ない場合は、53 ページの『設定内容が転送（又は読込）出来ない』を参照下さい。



進行状況が 100%になると転送終了です。「転送終了後の確認」画面が表示されます。

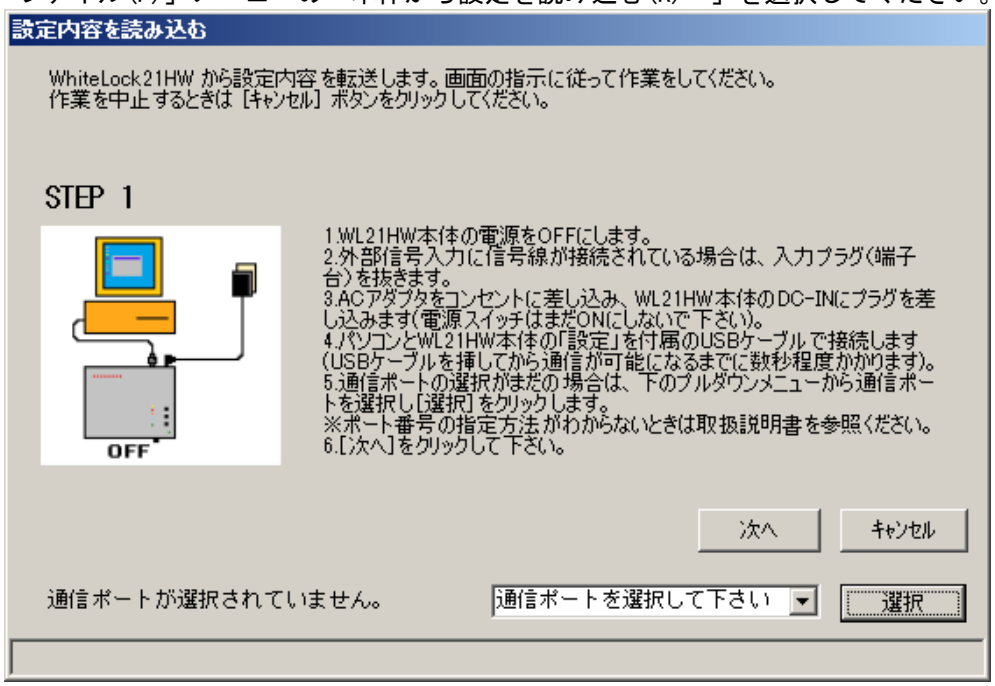
WL21HW 本体の電源を OFF にし、USB ケーブルを外して「閉じる」をクリックします。
USB 通信ケーブルを外すと「閉じる」のボタンがクリック出来ます。



※電源を OFF にした時に、DC-IN（緑ランプ）以外のランプがいつまでも点灯する場合は、56 ページを参照下さい。

本体から設定内容を読み込む

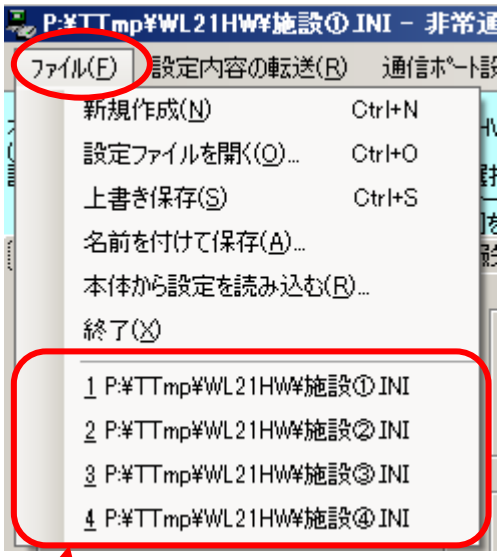
本体に現在保存されている設定を読み込みます。本体が、どのような設定になっているか確認することができます。
「ファイル(F)」メニューの「本体から設定を読み込む(R)…」を選択してください。

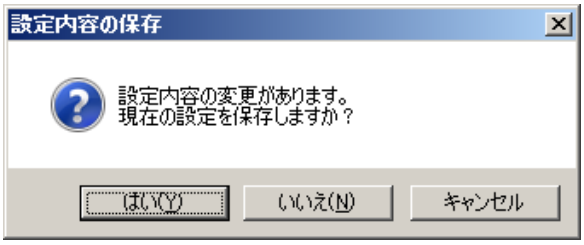


後は、画面の指示に従って WL21HW 本体とパソコンを USB ケーブルで接続します。
手順は 27 ページの「設定内容の転送」と同じです。転送終了後、本体から読み込んだ設定が画面に表示されます。

設定内容の保存と読み込み

設定内容をファイルに保存したり、ファイルから読み込んだりするにはメニューの「ファイル(F)」から行います。





以前に編集したファイル
過去に開いたファイルの履歴を 10 個まで表示します。表示されているファイルを選択すると、そのファイルを開きます。
※現在の設定が保存してなければ保存するか問い合わせてきます。

新規作成
全ての設定項目を初期状態にします。
※現在の設定が保存してなければ保存するか問い合わせてきます。

設定ファイルを開く
保存した設定ファイルを開く場合は、[ファイル(F)] メニューの [設定ファイルを開く(O)] を選択し、開きたい設定ファイルを選択して[開く(O)]ボタンをクリックします。
※現在の設定が保存してなければ保存するか問い合わせてきます。

上書き保存
既に開かれているファイルに上書き保存する場合は、[ファイル(F)] メニューの [上書き保存(S)]を選択します。

名前を付けて保存
設定された内容をファイルに保存する時は、[ファイル(F)] メニューの [名前をつけて保存(A)] を選択します。
保存先のフォルダ、ファイル名を指定して[保存(S)] ボタンをクリックします。保存する設定ファイルは、INI の拡張子を持つファイルとなります。

本体から設定を読み込む
29 ページを参照してください。

終了
設定ソフトを終了します。

録音再生

録音再生の概要

音声通報や入力信号の状態確認を使用される場合は、設定の他に録音が必要です。
音声録音は 12 チャンネル「0～9・A・B」が用意されています。各チャンネルを録音し、通報時はこれらを組み合わせて再生されます。各チャンネルの録音時間は最大 12.5 秒となります。
※チャンネル「C～F」の位置では、録音再生ボタンを押しても動作しません。

出荷時の録音内容

出荷時は下記内容が予め録音してあります。

録音チャンネル 0「こちらは非常通報装置ホワイトロックです」
録音チャンネル 1「入力１」
録音チャンネル 2「入力２」
録音チャンネル 3「入力３」
録音チャンネル 4「入力４」
録音チャンネル 5「入力５」
録音チャンネル 6「入力６」
録音チャンネル 7「入力７」
録音チャンネル 8「入力８」
録音チャンネル 9「全解除」
録音チャンネル A「停電」
録音チャンネル B「復電」

録音内容の例

録音チャンネル 0	設置した場所や機械装置などの名前が解るような内容を録音します。 例：「こちらは××です」「◎◎からのお知らせです」
録音チャンネル 1～8	各入力信号 1～8 に対応した通報内容を録音します。 例：「〇〇の警報が発生しました」「〇〇の故障が発生しました」
録音チャンネル 9	全入力が解除したときに通報する内容を録音します。 例：「全ての警報は解除しました」「全ての故障は解除しました」
録音チャンネル A	停電が発生した際に通報する内容を録音します。 例：「停電が発生しました」「外部電源装置が故障しました」
録音チャンネル B	復電したときに通報する内容を録音します。 例：「復電しました」「外部電源装置が復帰しました」

注意事項
全解除は、入力信号 1～8 の警報がすべて解除した場合です。（復電は該当しません）
全解除通報は、監視を設定していない入力信号も含めての判定になりますので、注意が必要です。

通報時の再生例（通常通報を受けた時）

入力信号が「警報発生」の状態になった時
「こちらは××です。〇〇の警報が発生しました。」
「◎◎からのお知らせです。〇〇の故障が発生しました。」
全入力信号が「警報解除」の状態になった時
「こちらは××です。全ての警報は解除しました。」
「◎◎からのお知らせです。全ての故障は解除しました。」
停電が発生したとき
「こちらは××です。停電が発生しました。」
「◎◎からのお知らせです。外部電源装置が故障しました。」
復電したとき
「こちらは××です。復電しました。」
「◎◎からのお知らせです。外部電源装置が復帰しました。」

着信時の再生例（入力信号の状態確認）

入力信号 1、2 が「警報発生」状態の場合
「こちらは××です。入力 1 の警報が発生しました。入力 2 の警報が発生しました」
入力信号全てが「警報解除」状態の場合
「こちらは××です。全ての警報は解除しました。」
停電状態の場合
「こちらは××です。復電しました。」

録音再生の操作方法

録音は、本体に装着されたマイクで行います。
・SIM カードを装着していないときは、STOP ボタンを押しながら電源を ON にします。LP1(黄ランプ)が点灯したら STOP ボタンから指を離します。
・録音再生をするときは、必ず AC アダプタを接続して下さい。AC アダプタ以外は繋げないで下さい。
・録音は静かな場所で行ってください。マイク感度が高いため、周囲の音を録音することがあります。
・録音レベルの音量調整はありません。声が大きすぎると再生音が歪むことがあります。どの程度の音量が適当かは通報させて確認ください。
・録音チャンネルと録音内容を間違えないよう、慎重に確認しながら行って下さい。録音内容を間違えると、通報を受けた時、意味不明な内容で誤動作と勘違いすることがあります。

1. 録音するチャンネルを「録音再生選択」で選択します。
※小さいマイナスドライバーでチャンネルを回してください。矢印の指している番号が現在のチャンネルになります。
※チャンネル「C～F」の位置では、録音再生ボタンを押しても動作しません。

2. 録音(REC)ボタンと停止(STOP)ボタンを同時に押します。
録音状態になると、LP2（赤ランプ）と REC/PLAY（青ランプ）が点灯します。
点灯を確認してから、マイクに録音するメッセージをお話しください。
12.5 秒が経過すると自動的に LP2（赤ランプ）と REC/PLAY（青ランプ）が消灯し、録音が終了します。
※任意の位置までで、録音を停止させたいときは停止(STOP)ボタンを押します。

3. 再生(PLAY)ボタンを押すと、スピーカーから録音内容が再生されます。
途中で録音を停止させた場合はその位置まで再生されます。
再生中は REC/PLAY（青ランプ）が点灯します。

4. 録音が終わったら電源を OFF にしてください。
※録音再生が終了しましたら、必ず「録音再生選択」を「0」にして下さい。
※電源を OFF にした時に、DC-IN（緑ランプ）以外のランプがいつまでも点灯する場合は、56 ページを参照下さい。

録音のコツ

1. 録音(REC)ボタンと停止(STOP)ボタンを同時に押した後、LP2（赤ランプ）と REC/PLAY（青ランプ）の点灯を確認してからメッセージを発声します。
2. メッセージを発声し終わると、すぐに停止ボタンを押します。
3. 再生してメッセージ内容を確認して下さい。また、雑音等が録音されていないかも確認下さい。

※スピーカーには磁力があるため、鉄粉が付着します。鉄粉が付着すると、雑音が入る場合や音量が小さくなる恐れがあります。スピーカーに鉄粉が付着しないようご注意下さい。

動作確認

WL21HW の設定が終了したら、設定した通りに動作するかを必ず確認して下さい。

1.「電源スイッチ」を OFF にします。
※WhiteLock21HW_ANT（アンテナオプション付）は、小型防滴アンテナを本体に接続して下さい。

2. AC アダプタの電源プラグを WL21HW の「AC アダプタ」に接続し、AC アダプタをコンセントに差し込み、DC-IN ランプが点灯した事を確認下さい。
接続方法は「AC アダプタの接続」42 ページの説明をご覧ください。
※DC-IN ランプが点灯しない場合は、コンセントから通電されていません。AC アダプタを差しているコンセントを確認してください。

3.「録音再生選択」が「0」になっていることを確認します。

4.「電源スイッチ」を ON にします。
※POWER ランプが点灯します。REC/PLAY ランプが 1 回点滅した後に、LP1・LP2 ランプが点灯します。（本体 Ver1.05 までは、電源 ON 時の REC/PLAY（青）1 回点滅はしません）
その後、STATUS ランプが点滅を開始します。さらに MODE ランプが点滅し、LP1・LP2 ランプが消灯すると運転開始です。

5. 各入力信号(1～8)の端子と、共通端子(COM)をリード線等で結線させ通報させます。（41 ページ参照）
〇SMS メール通報・・・通報先でメールが受信されたか、通報内容を確認します。
〇音声通報　　・・・通報先に電話がかかって音声が流れるか確認します。
該当する入力信号の通報がくるか、内容で確認して下さい。

呼出の種類と通話料金

通報の種類

通報には「音声通報」「SMS メール通報」があります。
※どちらも設定してある場合、通報は「SMS メール通報」から先に通報を行います。
但しネットワークの混み具合によっては、同通報先（携帯電話機）で両方着信した場合、音声通報が先に来ることもあります。

音声通報

音声通報は、一般電話、携帯電話、PHS 等へお客様がご自分で録音した音声で通報します。

SMS メール通報

1 回（1 カ所）の送信につき 3 円（税別）
受信側の受信料は発生しません。
※通報先（docomo・au・softbank・沖縄セルラー電話・イーアクセス）どこへも一律です。
※ウィルコムは PHS なので、送信出来ません。
※一日の SMS 送信件数が 200 件を超えると送信できなくなります。
※電波状態が悪い時など、SMS 送信に失敗した場合も料金は発生します。
※受信側が SMS 受信拒否をしている場合や、存在しない電話番号を設定した場合も料金は発生します。
※本製品には SMS 受信機能がありません。
注）設定間違えなどによる通信料金の課金については、弊社は一切責任を負いかねます。

1 回の通報にかかる通話時間

・「音声通報」の場合は、受信側が受話器を上げている時間によって異なります。
※通報先が受話器を上げてから 120 秒経過すると WL21HW が電話を切ります。この場合、通報が正常に終わっていないものと判断し、リダイヤルします。

・「SMS メール通報」の場合は、SMS センターへ送信されます。SMS センターへは、通報先 1 件あたり 5 秒程度です。
※該当する通報先が 6 ヶ所ある場合は、6 回 SMS センターへ通報先を送信する事になります。

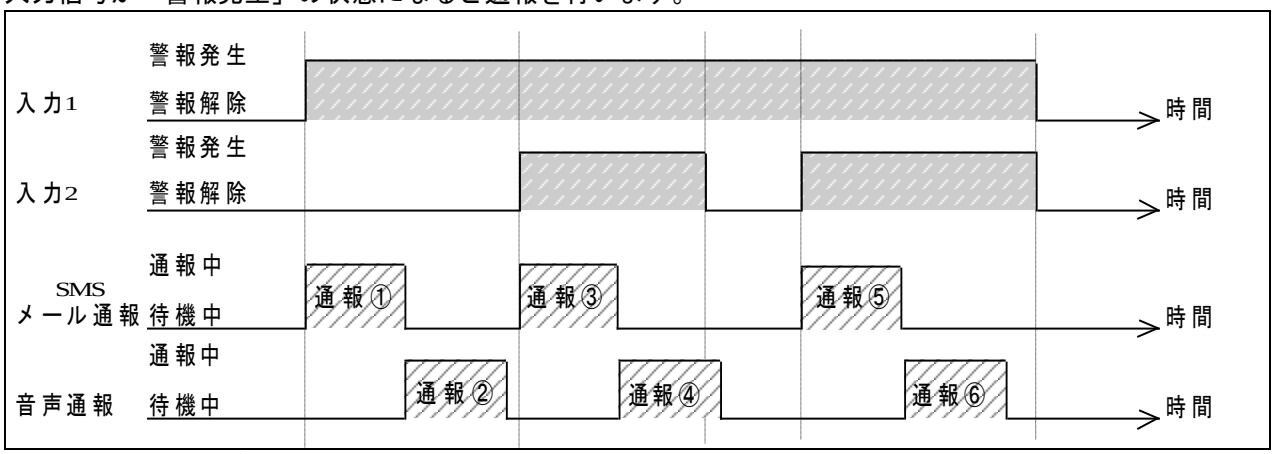
通報中に発生した警報について

通報中に発生した別の警報は、現在の通報処理が終了してからでないと通報を開始しません。 また、通報中に発生した停電・復電も同様の扱いとなります。

通報動作の順番と警報の種類

警報発生・解除（音声通報と SMS 通報を設定した場合）

入力信号が「警報発生」の状態になると通報を行います。



＊すべての通報先が入力 1.2 を監視する設定の場合

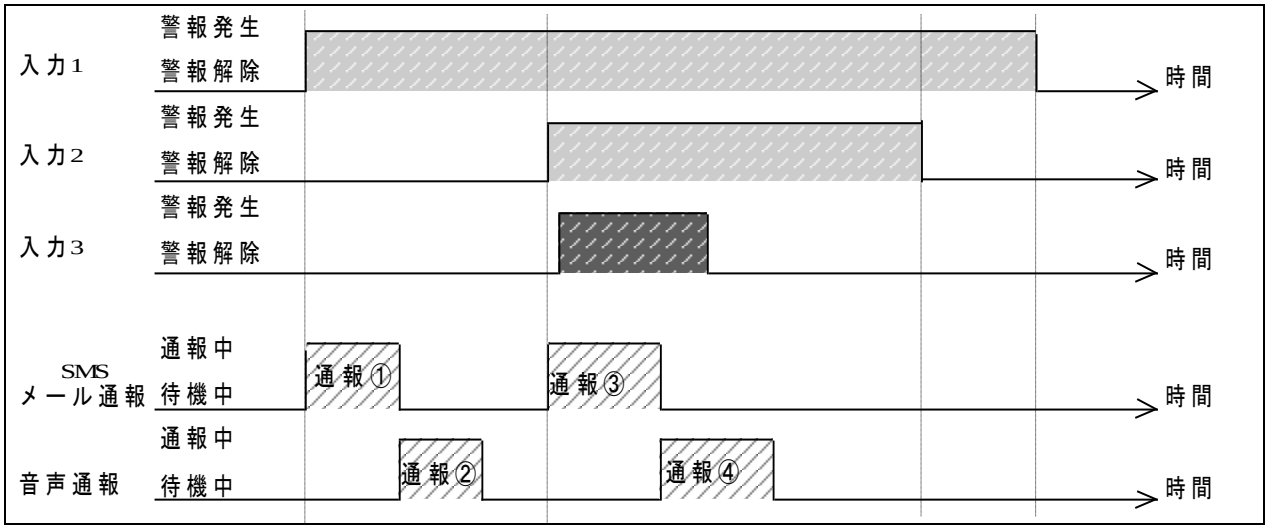
1.入力 1「警報発生」…SMS メール通報する（通報①）SMS メール通報後に音声通報する（通報②）
2.入力 2「警報発生」…SMS メール通報する（通報③）SMS メール通報後に音声通報する（通報④）
3.入力 2「警報解除」…通報しない［SMS 個別解除呼出の設定を行っていない場合］
4.入力 2「警報発生」…SMS メール通報する（通報⑤）SMS メール通報後に音声通報する（通報⑥）
5.入力 1・2「警報解除」…通報しない［音声全解除呼出の設定を行っていない場合］

※ここでの動作内容は本体 Ver1.09 の場合です。本体 Ver1.08 以前は、全解除呼出設定を行っていない場合、一度発生した警報（通報済み）が再度発生しても通報を行いません。本体 Ver1.08 以前に限り、Ver1.09 へのバージョンアップは無償で行わせて頂きます。

※本体 Ver1.10 の場合、SMS 通報は一度発生した警報（通報済み）が再度発生しても通報を行いません。再度通報が必要な場合は『全体の設定』の『SMS 個別解除呼び出し』にチェックを入れて下さい。

警報発生が重なった時（音声通報と SMS 通報を設定した場合）

入力信号の「警報発生」タイミングによっては、通報しない場合があります。
通報中に発生した警報は記録していません。通報終了時に入力信号の状態を確認します。



＊すべての通報先が入力 1.2.3 を監視する設定の場合

1.入力 1「警報発生」…SMS メール通報する（通報①）SMS メール通報後に音声通報する（通報②）
2.入力 2「警報発生」…SMS メール通報する（通報③）SMS メール通報後に音声通報する（通報④）
3.入力 3「警報発生」…通報しない

※入力 2 の通報を行っている間に入力 3 の警報が発生し、入力 2 の通報が終了する前に解除したので入力 3 の通報は行わない

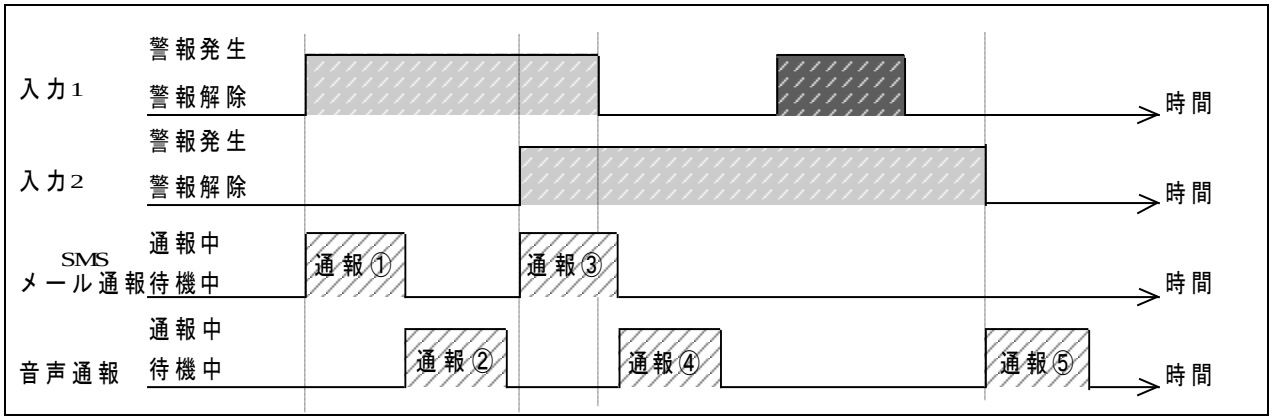
4.入力 2「警報解除」…通報しない［個別解除呼出の設定を行っていない場合］
5.入力 1「警報解除」…通報しない［全解除呼出の設定を行っていない場合］

全解除呼出設定（音声通報のみ）

※全解除通報は音声通報の場合のみ行います。

全ての入力信号が「警報解除」の状態になると『全解除通報』を行います。

注）通報開始より『全解除通報』までの間、既に通報済みの入力信号の「警報発生」は通報しません。



＊すべての通報先が入力 1.2 を監視する設定の場合

1．入力 1「警報発生」…SMS メール通報する（通報①）SMS メール通報後に音声通報する（通報②）
2．入力 2「警報発生」…SMS メール通報する（通報③）SMS メール通報後に音声通報する（通報④）
3．入力 1「警報解除」…通報しない［個別解除呼出の設定を行っていない場合］
4．入力 1「警報発生」…通報しない［通報を行ってから『全解除通報』していないため］
5．入力 1「警報解除」…通報しない［個別解除呼出の設定を行っていない場合］
6．入力 2「警報解除」…『全解除通報』する（通報⑤）［全解除呼出の設定を行っている場合］

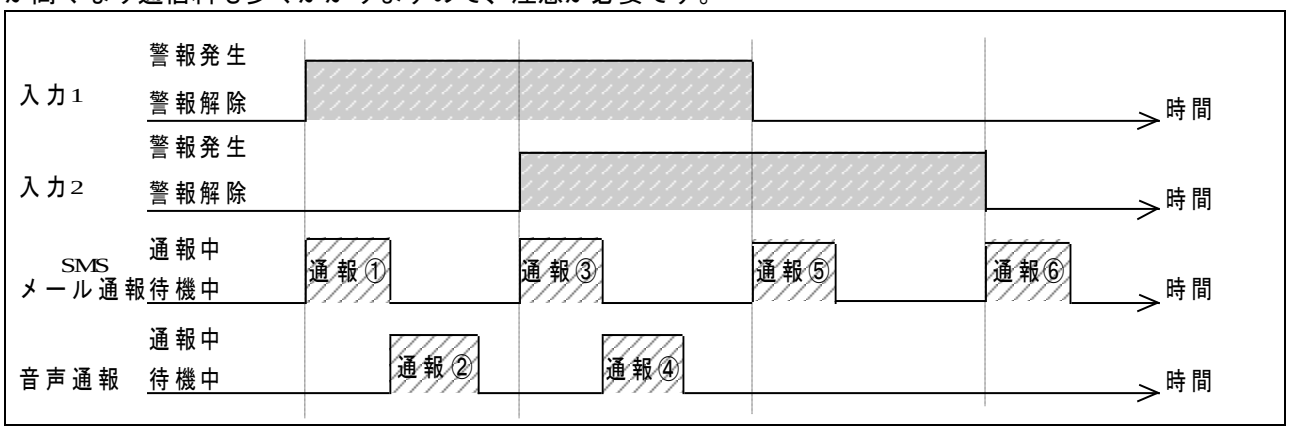
個別解除呼出（SMS 通報のみ）

※SMS メール通報のみ個別解除通報します。

各入力信号が「警報解除」の状態になると解除呼出を行います。

この設定をすることで、センサーなどの信号出力が誤報検知を出したとき、すぐに復旧すれば解除呼出によって誤報の確認が出来ることもあります。

個別解除呼出を設定すると、入力変化の度に通報します。入力信号が頻繁に変わる環境で設定する場合は、通報頻度が高くなり通信料も多くかかりますので、注意が必要です。



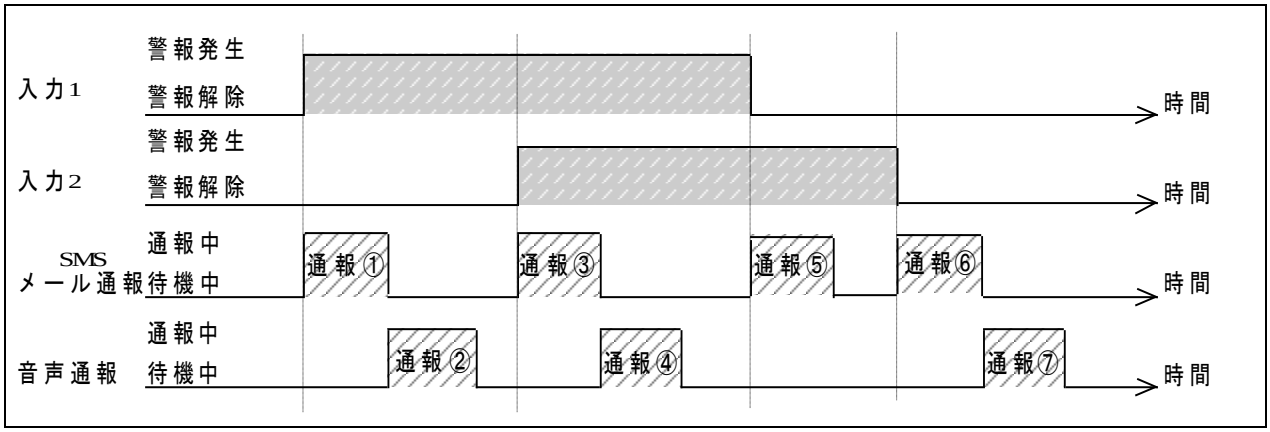
＊すべての通報先が入力 1.2 を監視する設定の場合

1．入力 1「警報発生」…SMS メール通報する（通報①）SMS メール通報後に音声通報する（通報②）
2．入力 2「警報発生」…SMS メール通報する（通報③）SMS メール通報後に音声通報する（通報④）
3．入力 1「警報解除」…SMS メール通報する（通報⑤）［個別解除呼出の設定を行っている場合］
4．入力 2「警報解除」…SMS メール通報する（通報⑥）［個別解除呼出の設定を行っている場合］

＊本体 Ver1.10 の SMS 通報は、一度発生した警報（通報済み）が再度発生しても通報を行いません。再度通報が必要な場合は『全体の設定』の『SMS 個別解除呼び出し』にチェックを入れて下さい。

全解除・個別解除呼び出し（どちらも設定した場合）

各入力信号が「警報解除」の状態になると解除呼出を行います。（SMS メール通報のみ）
全ての入力信号が「警報解除」の状態になると『全解除通報』を行います。（音声通報のみ）



＊すべての通報先が入力 1.2 を監視する設定の場合

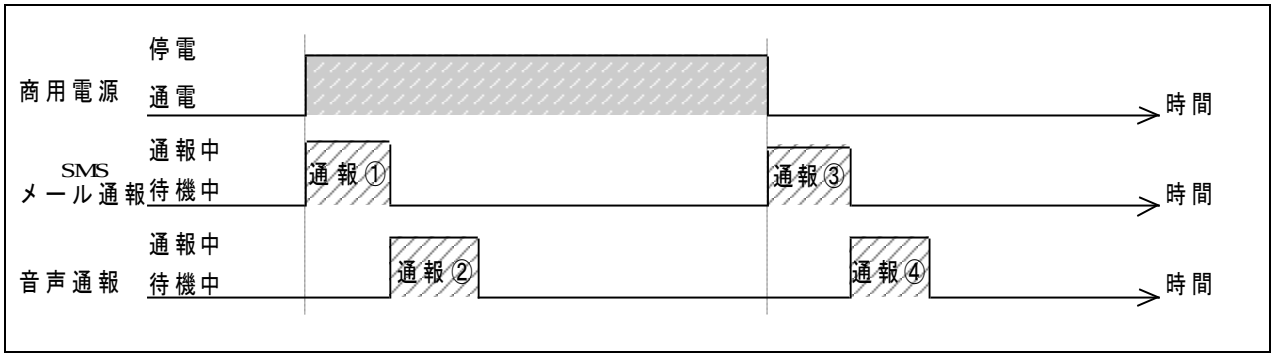
1.入力 1「警報発生」…SMS メール通報する（通報①）SMS メール通報後に音声通報する（通報②）
2.入力 2「警報発生」…SMS メール通報する（通報③）SMS メール通報後に音声通報する（通報④）
3.入力 1「警報解除」…SMS メール通報する（通報⑤）［個別解除呼出の設定を行っている場合］
4.入力 2「警報解除」…SMS メール通報する（通報⑥）［個別解除呼出の設定を行っている場合］
5.SMS メール通報後に『全解除通報』音声通報する（通報⑦）［全解除呼出の設定を行っている場合］

定期通報（SMS 通報のみ）

※SMS メール通報のみ定期通報します。
毎月 1 回または毎日 1 回の指定が可能です。
毎月 1 回の場合は 1 日～28 日から選択、時刻は 0 時～23 時から選択します。
毎日 1 回の場合は時刻を 0 時～23 時から選択します。
※通報は毎正時に行います。
※定期通報を設定した日時に電源を ON にした場合、正時でなくても定期通報が送信されます。

停電復電時発信

「停電復電」にチェックを入れた通報先へ、停電時と復電時に通報します。
停電通報は「全解除」や「個別解除」とは関係なく別の機能として通報します。

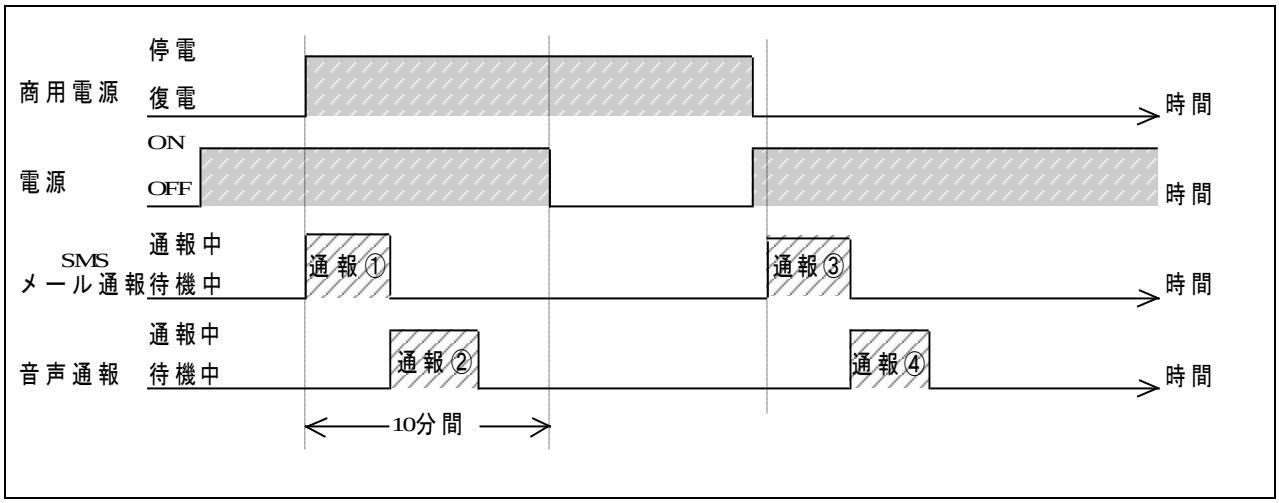


＊すべての通報先が停電・復電を監視する設定の場合

1.「停電」…SMS メール通報する（通報①）SMS メール通報後に音声通報する（通報②）
2.「復電」…SMS メール通報する（通報③）SMS メール通報後に音声通報する（通報④）
※電池残量が無い場合は、停電通報は行いません。
※停電通報を行っていない場合、復電通報も行いません。

停電保証時間（10 分）を超えてからの復電通報

停電保証は 10 分間です。停電発生から 10 分経過すると、自動的に電源オフします。



＊すべての通報先が停電・復電を監視する設定の場合

1.「停電」…SMS メール通報する（通報①）SMS メール通報後に音声通報する（通報②）
2.停電発生から 10 分後に WL21HW が自動電源オフする（電源 OFF）
3.復電すると電源が ON になり初期設定を行う［初期設定が終了しないと通報出来ない］
4.「復電」…SMS メール通報する（通報③）SMS メール通報後に音声通報する（通報④）
※電池残量が無い場合は、停電通報は行いません。
※停電通報を行っていない場合、復電通報も行いません。
※WL21HW が自動電源オフするまでに電池残量が無くなった場合でも、停電情報が不揮発性メモリに保存される為、復電時に復電通報を行います。
※停電通報後に電源スイッチを OFF にすると、次に電源を ON にした時には復電通報は行いません。

着信許可（入力信号の状態確認）

WL21HW に挿入している FOMA カードの電話番号に電話をかけ、警報の状態を確認することができます。

着信を制限する

着信を下記の中から制限できます。
〇着信しない
〇無条件に着信する
〇着信ベルが 1 分鳴ったら着信する
〇着信を許可した電話番号のみ着信する（許可する電話番号は最大 6 個まで登録出来ます）

入力信号の状態を音声で聞く

WL21HW に挿入した FOMA カードの電話番号に電話をかけると、WL21HW が自動着信します。
着信した時点の入力信号の状態が、音声で繰り返し聞こえます。（音声内容は 32 ページ参照）
WL21HW が自動着信してから 120 秒以内に電話を切らない場合は、WL21HW から電話を切ります。
・音声内容は、本体が着信したときの警報状態です。音声を聞いている間に警報内容が変化しても、音声内容は変わりません。
・WL21HW が通報中や着信処理中の場合は話し中になります。呼出音が聞こえた場合でも切断されます。
・通報によっては時間がかかる場合があります。この場合は少し時間をおいてからかけ直して下さい。
・WL21HW が着信中の警報の変化（警報が発生して解除した場合。又は警報が解除して発生した場合）は、着信切断後に通報はしません。
・下記の場合、WL21HW へ電話をかけると着信を拒否して話中音が聞こえます。この場合、発信元は通話料金が発生しますので、ご注意ください。
1．「着信しない」に設定している（初期値）
2．「着信を許可した電話番号のみ着信する」に設定してあり、登録していない電話番号からの着信

通報終了の条件

1 つの通報先を終了する条件

それぞれの通報先で通報が終了したと判定される条件。

【　SMS メール通報　】

・SMS センターがメッセージ内容を受け取ると終了となります。

※通達確認はしません。再送もしません。

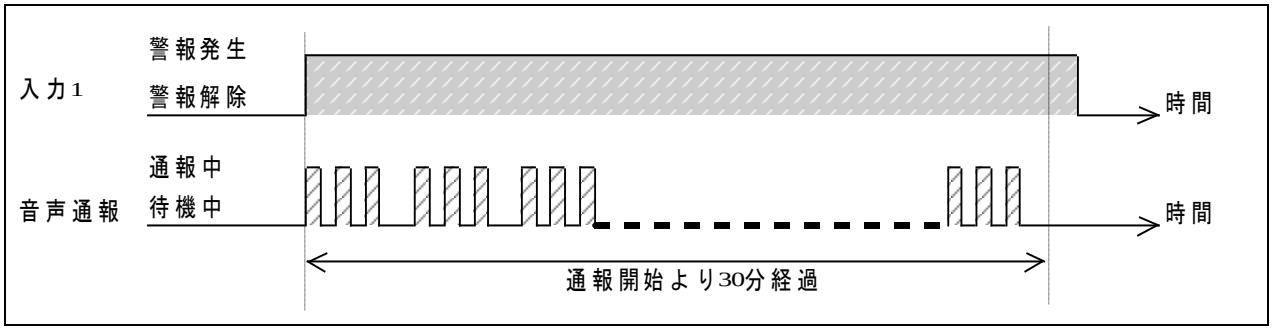
【　音声通報　】

・通報先が電話に出てから 120 秒以内に電話を切ると、その通報先への通報は終了となります。（WL21HW は通報先が 30 秒以内に電話に出ないとき、一旦電話を切ってかけ直す動作をします）

・通報先が話中や、通報先の携帯電話が圏外か電源 OFF の場合には、一旦電話を切ってかけ直します。

・通報先が携帯電話機の場合、通報を受けた時に「応答保留ボタン」を押すと着信したことになります。そのまま放置した場合は、着信して 120 秒後に WL21HW 側から一旦電話を切ってかけ直します。

※通報先が 1 ヶ所の場合・・・話中や圏外状態が続くと、通報を開始して 30 分経過すると通報が完了していなくても、その通報は終了します。



複数の「音声通報先」を終了する条件

「音声通報」は、通報先 1～6 の順に通報を行います。但し、監視する入力が該当しない通報先へは通報しません。通報先が複数ある場合、「通報先の何処か 1 ヵ所に通報したら終了」か「すべての通報先に通報したら終了」の設定により終了条件が変わります。

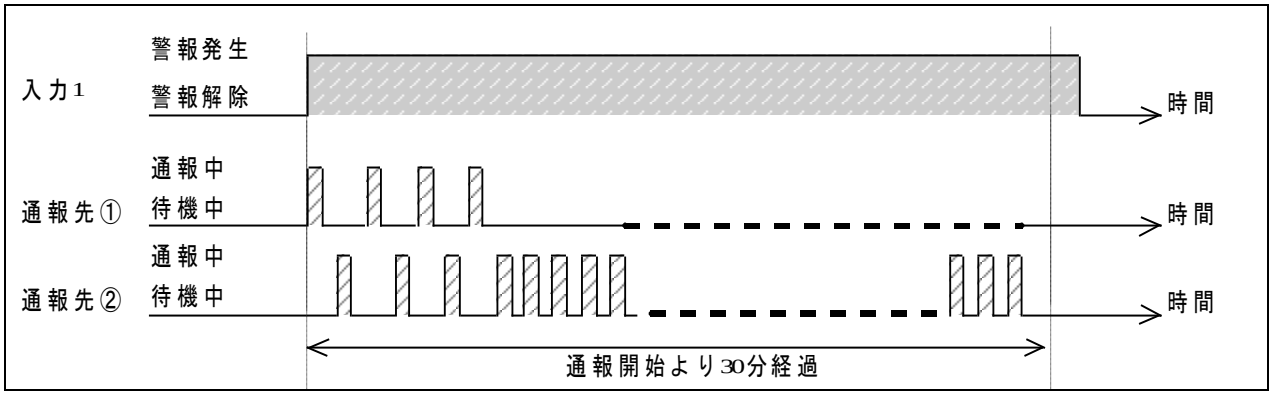
○「すべての通報先に通報したら終了」に設定した場合

・通報が正常に終了した通報先には通報せず、次の通報先へ通報します。

・通報先が話中、圏外などで通報が成功しなかった場合は、一旦電話を切って次の通報先へ通報します。

・通報が正常に終了しない場合、通報を繰り返し行います。

※繋がらない通報先（話中や圏外）が残っていても、通報を開始して 30 分経過するとその通報は終了します。



○「通報先の何処か 1 ヵ所に通報したら終了」に設定をした場合

・複数ある通報先のうち、どこか 1 ヵ所の通報先が正常に終了すると、他への通報先へは通報はしません。

・通報先が話中、圏外などで通報が成功しなかった場合は、一旦電話を切って次の通報先へ通報します。

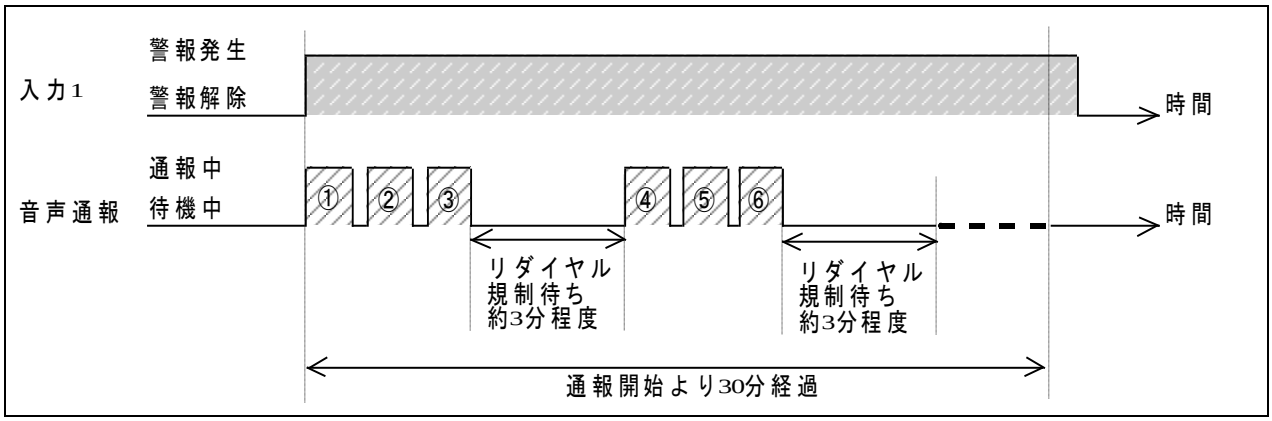
・通報が正常に終了しない場合、通報を繰り返し行います。

※話中や圏外、電話に出ない状態が 30 分継続した通報先は、通報済みとして扱います。（通報終了）

注）監視する信号が同じ通報先が 2 ヵ所以上に設定してある場合に限り、「通報先の何処か 1 ヵ所に通報したら終了」が設定出来ます。通報先が 2 ヵ所以上設定してあっても、監視する信号が同じでなければ設定出来ません。

音声通報のリダイヤル規制について

通報先が圏外や話中の場合、WL21HW 側から一旦電話を切ってかけ直しますが、3 回連続して同じ電話番号へ発信を行いますと、リダイヤル規制されます。この場合、約 3 分程度待機した後に、再度電話を掛け始めます。
また、通報開始より 30 分経過すると、通報を正常に受けていない場合でも、その通報は終了します。
※通報先が 30 秒以内に電話に出ないとき、一旦電話を切ってかけ直しますが、この場合何度かけ直してもリダイヤル規制にはなりません。圏外や話中の場合に限り、リダイヤル規制されます。
※リダイヤル規制とは、ドコモが規定した外部機器（無線モジュール UM01-HW）を用いた迷惑電話の防止や回線を保護するための機能です。



【　通報先の携帯電話が圏外の場合　】
1. 電話を掛けるが圏外の為一旦電話を切る（①）
2. リダイヤルするが、圏外の為一旦電話を切る（②）
3. リダイヤルするが、圏外の為一旦電話を切る（③）
4. 同じ電話番号へ 3 回発信したので、リダイヤル規制。リダイヤル規制が解除されるまで約 3 分程度待つ。
5. リダイヤル規制が解除されたのでリダイヤルするが、圏外の為一旦電話を切る（④）
6. リダイヤルするが、圏外の為一旦電話を切る（⑤）
7. リダイヤルするが、圏外の為一旦電話を切る（⑥）
8. 同じ電話番号へ 3 回発信したので、リダイヤル規制。リダイヤル規制が解除されるまで約 3 分程度待つ。
（以後繰り返し）
9. 通報を開始してから 30 分経過したので、入力 1 警報発生の通報は終了。

リダイヤル中やリダイヤル規制中の入力信号の変化は、記録されません。その間の、他の入力信号に対する通報は出来ませんのでご注意下さい。
通報先は複数設定し、「通報先の何処か 1 ヵ所に通報したら終了」を選択される事をおすすめします。

設置方法

設置場所を決める

WL21HW を設置する前に、本書の仕様を確認の上、設置場所を決めて下さい。
本体正面に向かって左側面にアンテナが収納されています。本体は半径 30 センチメートル以内に電波を遮蔽する金属類が無い場所に設置してください。
金属ケースや制御盤内部に設置すると電波の強度が弱くなり、通報が出来ない、又は通報が不安定になります。
※電波が遮蔽される場所に取り付ける場合（制御盤内など）は、WhiteLock21HW_ANT（アンテナオプション付）をご使用下さい。（13 ページ参照）

電波が弱い場所で WL21HW の電源を ON にした場合や、SIM カードが WL21HW に挿入されていない場合は、STATUS（白）が点滅を繰り返し、MODE(青)が点滅状態になりません。（運転状態になりません）

接続工事

入力端子接続

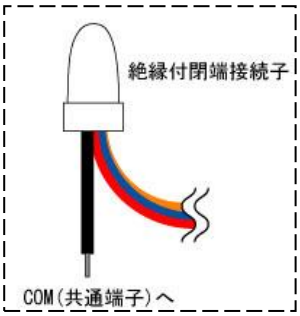
各入力信号は COM（共通端子）と 1～8 の間に接続します。COM（共通端子）は端子の端 2 ヶ所になっています。
信号は無電圧 a 接点（無電圧 b 接点）又は、オープンコレクタを接続します。
※接続できる信号は無電圧のものに限ります。商用（AC）100V や直流電圧がかからないようにしてください。
※設定ソフトで各入力の a 接点、b 接点を変更することもできます。
※1 つの入力に複数の入力を並列に接続して一括故障などとすることもできます。
※入力信号は、200 ミリ秒以上(初期値)の間継続して ON(OFF)の時に、入力変化があったとみなします。

端子台

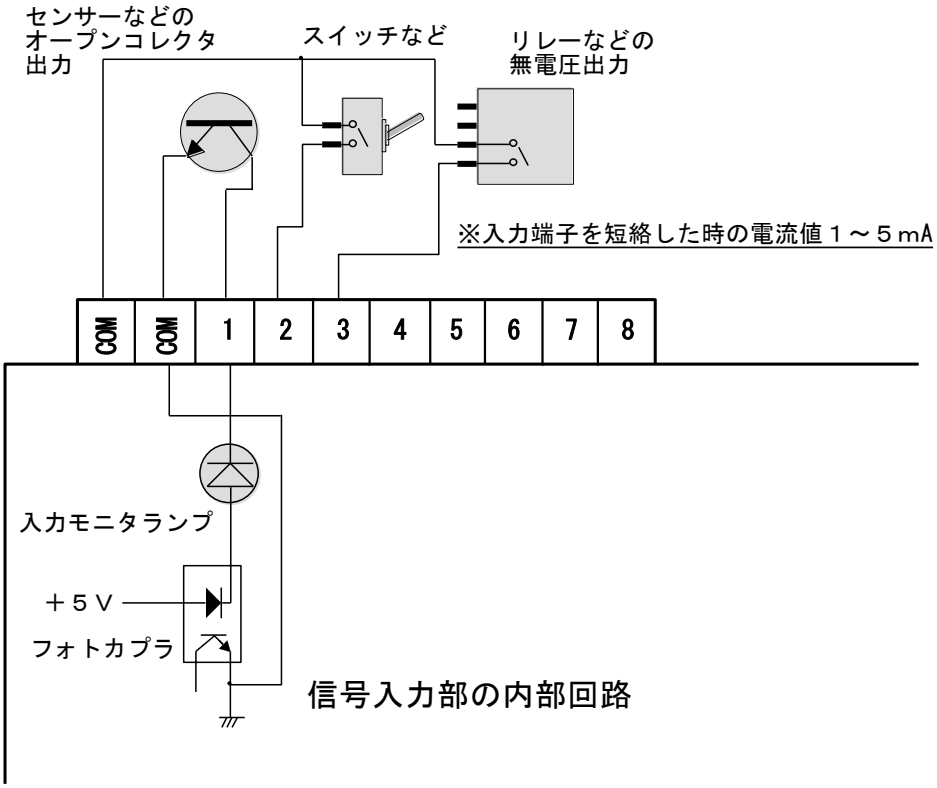
信号入力はコネクタ端子台になっています。端子台は圧着端子不要のワンタッチ式（又は押締方式）で直接電線を接続できます。配線工事、メンテナンスの際にはワンタッチでコネクタを抜いて配線作業が行えます。

【ネジ締め式端子台】
信号入出力コネクタの接続電線範囲　　AWG28～AWG16　　単線 0.5Φ～1.3Φ
電線むき長さ 7mm
締めつけトルク 0.22～0.25N･m
単線　又は　より線
注意:電線の先端は予備ハンダをしないでください。
【ワンタッチ端子台】
信号入出力コネクタの接続電線範囲　　AWG24～AWG16　　単線 0.5Φ～1.3Φ
電線むき長さ 9～10mm
単線　又は　より線（棒端子併用を推奨）

＊電線を端子に接続後は引っ張るなどし、抜けないことを確認下さい。まれに端子内部の金具に挟まっていない場合があります。
＊複数の信号線をCOM（共通端子）に接続する際は、絶縁付閉端接続子でまとめて下さい。（右図参照）



信号入力部の内部回路



信号入力部の内部回路

取付足

付属の「取付足」で WL21HW 本体を固定する場合は、右図のように取り付けて下さい。

※付属されたビスでケースに取付足を止めて下さい。
※付属のビス以外の物でケースに取り付けると、ケースの表面にネジ頭が飛び出ることがありますので、ご注意下さい。
※固定用ビスは M3 サイズです。

AC アダプタの接続

AC アダプタのプラグを「DC-IN」にさし込み、アダプタ本体をコンセントに差し込みます。DC-IN ランプが点灯します。
※DC-IN ランプは AC アダプタからの電源供給が無い場合には点灯しません。制御盤内部の AC コンセントを利用する場合、AC コンセントに電気が来ていない事があります。

運転の開始

実際に現場に取り付けて使用するときは、次のことに注意してください
・WL21HW の電源スイッチは、初期設定中と終了作業中の間は入り切りしないで下さい。処理中に入り切りするとモジュールが故障します。
・「STOP」「PLAY」「REC」ボタンを押さないで下さい。通常の監視状態でも録音再生が可能になっています。
・音声再生中や録音中は通報できません。
・音声チャンネルは 0 にしてください。

通報の受信

受信装置

・音声通報を受信できるのは、一般電話機、携帯電話、PHS です。
・SMS メール通報を受信出来るのは、携帯電話機（docomo・au・softbank・沖縄セルラー電話・イーアクセス）です。
※通報先が SMS 受信拒否している場合は受け取れませんので、ご注意下さい。
※受信先が i モード・SP モードを契約されている場合でも、SMS として受信します。
※ウィルコムは PHS なので、送信出来ません。

音声通報を電話機で受信したとき

電話のベルが鳴ったら受話器をとります。最初に録音チャンネル 0 の音声が聞こえ、続いて該当する入力信号に対応する録音内容が聞こえます。受話器を上げている間繰り返します。
通報先が受話器をとってから 120 秒を過ぎると、通報装置が電話を切ります。この場合はしばらく待つと再び電話がかかってきます。120 秒以内に受話器を下ろせば（受信した側で電話を切る）、通報装置は正しく相手に通報できたと認識して以後通報はしません。
※同じ電話番号へ連続して 3 回通報した場合、リダイヤル規制になります。3 分後に通報を再開します。
※通報開始より 30 分経過すると、正常に受け取っていない通報先があっても、その警報に対する通報は終了します。

【電波状態が弱いとき】
通報先がすぐに電話に出て内容を聞き電話を切った後、LP1（黄）がしばらく点灯したままになることがあります。2 分程度待つとリダイヤルして再度電話がかかる事があります。

SMS メール通報を利用した場合

SMS センターから送信されます。件名はありません。
SMS 受信拒否している場合は受け取れません。また、通達確認はしません。
一日の SMS 送信件数が 200 件を超えると送信できなくなります。

動作モニタ

表示モニタランプ

AC アダプタで WL21HW に電源供給しているとき
DC-IN（緑）が点灯します。
※WL21HW の電源が OFF の時にも、DC-IN（緑）は点灯します。

電源 ON（初期設定）
電源 ON で POWER（緑）ランプが点灯します。
REC/PLAY（青）が 1 回点滅した後、LP1（黄）・LP2（赤）が点灯します。
※本体 Ver1.05 までは、電源 ON 時の REC/PLAY（青）1 回点滅はしません。
しばらく待つと、STATUS（白）が 3 秒に 2 回点滅します。【初期設定中】
更に待つと、STATUS（白）が消灯し、MODE（青）が 3 秒に 1 回点滅し始めます。
LP1（黄）・LP2（赤）が消灯します。【正常動作中】
※ここまで約 42 秒かかります。

電波状態が圏内の場合（通報出来る状態）
STATUS（白）が消灯状態、MODE（青）が 3 秒に 1 回点滅します。

電波状態が圏外の場合（通報出来ない状態）
STATUS（白）が 3 秒に 2 回点滅し、MODE（青）は消灯しています。

電源 OFF（終了処理）
電源 OFF で LP1（黄）・LP2（赤）・REC/PLAY（青）が高速点滅します。
その後点灯・点滅を 10 秒程度繰り返し、LP1（黄）・LP2（赤）・REC/PLAY（青）・POWER（緑）が消灯します。
AC アダプタから電源供給中は、DC-IN（緑）は点灯したままです。
※電源スイッチを OFF にした時、終了作業中に電源を ON にすると、LP1(黄)・LP2(赤)・REC/PLAY（青）が点灯します。電源を OFF にして下さい。
※電源を OFF にした時に、DC-IN（緑ランプ）以外のランプがいつまでも点灯する場合は、56 ページを参照下さい。

電源スイッチを OFF にするように要求しているとき
LP1（黄）・STATUS（白）が消灯し、LP2（赤）・REC/PLAY（青）が低速点滅します。
下記の理由で、電源を OFF にするよう要求します。電源を OFF にして下さい。
・障害発生の時。
・SIM カードを挿入していない場合や、SIM カードに「PIN1 コード」が掛かっている場合。
※SIM カードの挿入方法と、「PIN1 コード」の解除方法は 9 ページを参照下さい。

無線モジュール正常動作中
MODE（青）が 3 秒に 1 回点滅します。

電波状態が弱いとき
STATUS（白）が 3 秒に 2 回点滅し、MODE（青）は消灯します。
※通報先がすぐに電話に出て内容を聞き電話を切った後、LP1（黄）がしばらく点灯したままになることがあります。2 分程度待つとリダイヤルして再度電話がかかる事があります。

復旧処理中

障害が発生したときに LP1（黄）・REC/PLAY（青）が点灯します。

通報時

SMS 通報、又は音声通報中	→LP1（黄）点灯
SMS 通報、又は音声通報正常終了	→LP2（赤）3 秒間高速点滅
音声通報先話中	→LP1（黄）3 秒間高速点滅
音声通報先圏外	→LP1（黄）・LP2（赤）3 秒間交互に高速点滅
音声通報先最大通話時間超過	→LP1（黄）点灯・REC/PLAY（青）3 秒間高速点滅
音声通報先呼出時間超過	→LP1（黄）・LP2（赤）3 秒間交互に高速点滅

通報がこない場合

設定内容に誤りがある場合、LP1（黄）が低速点灯し続けます。
設定内容を読み込んで確認して下さい。「通報先の電話番号」が空欄で各入力や全解除、停電復電にチェックが入っていると（各入力や全解除、停電復電がグレーに表示）、正常に動作しません。
【修正方法】
空欄の「通報先の電話番号」をクリックします。次に、別の「通報先の電話番号」をクリックすると入力のチェックが消えます。修正した設定内容を WhiteLock21HW へ転送して下さい。

リダイヤル規制待機中

LP1 が 3 秒点灯後消灯し、LP1（黄）・LP2（赤）・REC/PLAY（青）が 4 秒高速点滅します。
待機中は、これを繰り返します。

着信中

自動着信処理中	→LP1（黄）点灯
音声自動着信終了	→LP2（赤）3 秒間高速点滅
自動着信の時最大通話時間超過	→LP1（黄）点灯・REC/PLAY（青）3 秒間高速点滅

動作設定転送・読込中

電源 ON にすると POWER（緑）・REC/PLAY（青）が点灯します。
転送・読込終了後、電源 OFF にすると、POWER（緑）・REC/PLAY（青）が消灯します。

録音・再生中

STOP ボタンと REC ボタンを同時に押すと録音状態になります。
録音中　→　LP2（赤）・REC/PLAY（青）点灯
PLAY ボタンを押すと再生状態になります。
再生中　→　REC/PLAY（青）点灯

停電保証について

停電保証は 10 分間です。搭載された FOMA 無線モジュールは終了処理が必要な為、停電してから 10 分経過すると自動的に電源をオフにします。
停電が発生すると、通報装置へ信号供給しているセンサーや制御機器の電源も同時に喪失する場合が多く、停電時に信号が入る事は少ないと思われます。また、停電は続けて発生することもあり、充電した電池を効率よく利用するためでもあります。
※保証時間が経過すると通報途中であっても自動的に電源を切ります
※停電中に長時間本機を動作させたい場合は、外部に無停電電源装置等を設置してください。
※停電通報後、自動電源オフの前に電池が無くなった場合でも、停電情報が不揮発性メモリに保存される為、復電時に復電通報を行います。

内蔵充電池

・内蔵の電池は、ニッケル水素充電池です。
・停電の時に無線モジュールの自動電源オフ及び通常運転を行うために利用します。
・AC アダプタが正しく接続され、商用電源が供給されているときは「電源スイッチ」が OFF の状態でも充電しています。充電はトリクル充電方式により、過充電にならない程度に弱い充電を常時行っております。電気代はわずかですが、長期間にわたって通報装置を使用されないときは AC アダプタをコンセントから抜いておかれることをお勧めします。
・短時間のうちに停電が何度も発生したときは電池残量が減ります。この場合は、完全充電までに 72 時間以上かかることがあります。
・電池は約 2 年で交換が必要です。
・停電の際に動作が不安定になったり異常状態になったりする可能性がありますから電池は取り外さないで下さい。
・電池の交換によって、設定内容や録音メッセージが消去する事はありません。

充電池の交換方法

1. ケースカバーの取り外しと取り付け(56 ページ)を参照しながら取り外します。
2. 基板のネジを外します。
3. 電池に接続してある電池スナップを外します。
   ※電池から電池スナップを指で取り外します。または電池と電池スナップの間に、プラスチック製の板(電気を通さないもの)を差し込んで取り外して下さい。
   注)鉄製のマイナスドライバーは絶対に使用しないで下さい。電池がショートして発火、爆発する恐れがあります。
4. 電池を基板から取り外し、新しい電池を同じ場所へ貼り付けます。
   ※電池は基板の裏側に両面テープで固定してあります。基板を傷つけないように丁寧に外します。
   ※交換する電池は、必ず　ニッケル水素充電池　006P　9V 型　250mAh 以上　をご使用下さい。
   ※アルカリ乾電池をつなげますと火災の原因となります。爆発するおそれもありますのでご使用は絶対にお止め下さい。
5. 電池に電池スナップを取付け、基板をネジで固定します。
6. ケースカバーの取り外しと取り付け(56 ページ)を参照しながらケースを取り付けてください。

よくある質問(Ｑ＆Ａ）

一般的なご質問 48
通報・設定についてのご質問 50
SMS メール通報についてのご質問 52
設定ソフトについてのご質問 53

一般的なご質問

Q．装置を取り付けるところではFOMA電波が圏外となるのですが。
A．WL21HWはFOMA電波圏外の場所ではご利用になれません。「WL21A_RN」一般回線タイプは、取り付ける場所が圏外でも電話回線との接続が可能な場所であれば問題ありません。

Q．使用するFOMAカードで必要な契約はありますか？
A．音声で電話をかけたり受けたりできる契約が必要です。SMSもパケット通信ではありませんので、ｉモード契約などは必要ありません。

Q．FOMAカードは付属品ですか？
A．付属しておりません。お客様でご契約ください。ご契約方法は8ページを参照下さい。

Q．付属の充電池はどれくらいの期間使用できますか？
A．2年以上使用できます。

Q．取り付けは素人でも出来ますか？
A．侵入通報の用途で、ドアセンサーなどを接続する場合は簡単に取り付けできます。制御盤などに取り付けるときは、電気工事業者にご相談ください。

Q．屋外に設置したいのですが。
A．製品は、防水暴雨仕様ではありません。水滴や、雨、粉塵等に晒される場所ではウォル・ボックスなどの適当なケース(樹脂製)に組み込んでください。

Q．200V用の製品はありますか。
A．ございません。単相複巻きトランス(30VA～50VA)で200Vを100Vに変換してご使用下さい。
※一次側と二次側を間違えて接続しないで下さい。必ず、接続は電気工事屋へご依頼下さい。

Q．装置を取り付けるところに電源が無いのですが。
A．充電された自動車用バッテリーを使うことで長期間の連続利用が可能です。その際には、オプション品の『DC/ACインバータ』をご使用下さい。また、ソーラーシステムを利用する事も可能です。

Q．業務用に使った場合に問題はありませんか？
A．まったく問題ありません。

Q．保証はありますか？
A．はい、ご購入後1年間です。

Q．装置の寿命は、どれくらいですか？
A．故障で最も多いと考えられるのは電源からカミナリが入る場合ですが。防止策としては業務用の電源避雷器を組み込むことで改善されます。「WL21HW」は内部の部品に機械的な接点を使用していませんので、長寿命です。

Q．マイクやスピーカーは付属していますか？
A．付属されていません。本体にマイクとスピーカーが内蔵されています。

Q．USB通信ケーブルをなくしてしまったのですが。
A．市販のUSB通信ケーブル　A（オス）-B（オス）を購入して下さい。

Q．1つの入力接点に2つのセンサーを接続できますか？
A．可能です。

Q．付属されたACアダプタとは別のACアダプタを使用したいのですが。
A．付属品以外のACアダプタを使用されますと動作保証外となりますのでおやめください。

Q．2秒間の無電圧接点出力のあるパッシブセンサーを使用できますか？

A．できます。200 ミリ秒以上(初期値)の間継続して ON(OFF)の時に、入力変化があったとみなし通報します。この時間は設定ソフトで変更可能です。

Q．無電圧接点を 10mくらいの線で入力させても問題ありませんか?

A．問題ありません。50m までであれば、0.75㎟以上の線で雷対策（埋設）を行えばご使用頂けます。誘導雷の混入を防ぐ為に必ず埋設して下さい。

通報・設定についてのご質問

Q．通報がこなくなった

A．本体のランプの状態を確認して下さい。

・STATUS ランプが点滅し、MODE ランプが点滅していない場合は FOMA 電波状態が圏外です。

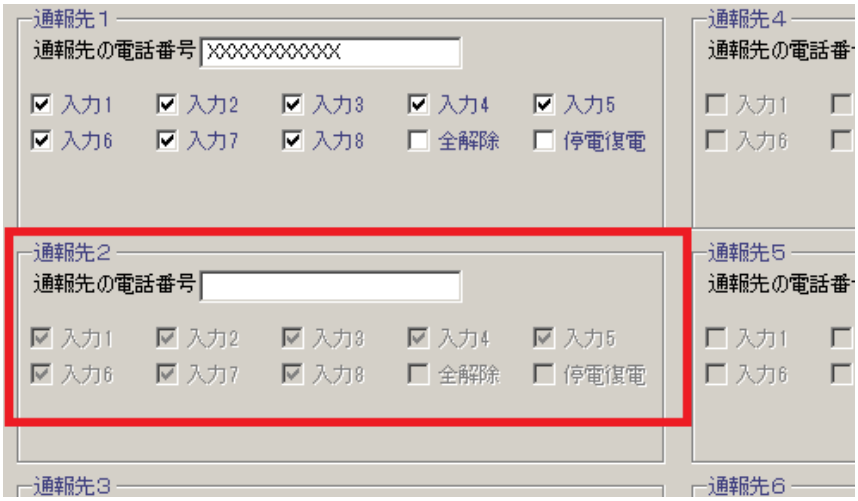
・LP1 ランプが低速点滅している場合は、設定内容に誤りがあります。設定内容をパソコンに読み込んで確認して下さい。

下図のように『通報先の電話番号』が空欄で、入力にチェックが入っている設定（入力がグレーに表示）ですと、正常に動作しません。（SMS 電話番号の設定も同じです）

【修正方法】

空欄の『通報先の電話番号』をクリックします。次に、別の『通報先の電話番号』をクリックすると入力のチェックが消えます。

※修正した設定内容を WhiteLock21HW へ転送して下さい。



Q．音声通報を受けた警報が解除した後に、再び警報発生しましたが通報がきません。

A．本体 Ver1.08 以前の場合に、全解除呼出を設定していないと、そのような動作を行います。全解除呼出を設定している場合は、全解除通報後の警報発生については通報します。

※本体 Ver1.09 へバージョンアップする事で改善されます。本体 Ver1.08 以前に限り、Ver1.09 へのバージョンアップは無償で行わせて頂きます。

Q．通報しようとしません。

A．STATUS（白）が 3 秒に 2 回点滅し続け、MODE（青）は消灯していますと、電波状態が圏外です。圏外では、通報を行いません。STATUS（白）が消灯状態、MODE（青）が 3 秒に 1 回点滅していますと、電波状態が圏内ですので、通報を行います。

Q．音声通報先を複数設定しテスト通報を行いましたが、通報先 1 より先に通報先 2 に通報がきました。

A．WL21HW は通報先 1 から順に通報していますが、通報先 1 へ電話を掛けたタイミングによって電波の発信が出来なかった場合には、電波の特性上このような事が起こります。

Q．音声通報先で音声メッセージが流れない事があった。

A．電波の特性上、FOMA 電波の受信レベルが十分な状態であっても通信が上手くいかない場合があります。FOMA から出ている電波と基地局から出ている電波の強さは異なります。電波の強さに違いがあるため、基地局からの電波は届くのに FOMA 電波は基地局に届かないことがあります。このような場合に、電話に出たら切れてしまったり、音声が聞こえなかったりという症状が起こります。

Q．設定をしたのですが音声通報がきません。

A．設定内容を読み込み、通報先の電話番号が間違っていないかを確認して下さい。通報先が固定電話の場合、市外局番が必要となります。

また、FOMA カードが音声通話出来る契約内容であることをご確認下さい。データ通信のみの契約では電話が掛けられない為、音声通報は出来ません。

Q．音声通報先が電話に誰も出ない場合はどうなりますか？
A．通報先へ電話をかけ、30 秒間呼出音を鳴らした後電話を切り、またすぐに電話をかけます。以後その繰り返しです。（30 分後に通報は終了します）

Q．現在使われていない電話番号に通報するとどうなりますか？
A．通報装置は、登録された電話番号が正しく設定されているかどうか認識できません。従って、誤った電話番号を登録されると内容によっては多額の電話代がかかったりする場合があります。必ず、設定後に動作試験を実施してからご使用下さい。

Q．発信者番号を通知するには？
A．音声通報は、通報先の電話番号の先頭に「186」を入力してください。FOMA から発信された SMS メールには、必ず発信者番号が通知されます。

Q．１回の通信に要する時間はどれくらいですか？
A．音声通報の場合は受けた側が電話を切るまでです。SMS メール通報の場合は、SMS メールセンターへ送信しますが、1 件につき数秒で送信し終わります。

Q．接点入力と音声通報のメッセージが違うのですが。
A．チャンネルとメッセージの録音が正しいか再生して確認して下さい。「録音再生の概要」31 ページを参照して下さい。

Q．音声通報を受けたとき、どの入力信号が警報になっても同じメッセージが聞こえるのですが。
A．メッセージ録音時に、録音チャンネル 0 だけで録音していませんか。「録音再生の概要」31 ページをご覧になり録音内容を確認して下さい。

Q．音声通報時にノイズが入るのですが。
A．入力接点に接続してあるものを外してください。制御盤に取り付けられている場合は本体も外してください。外した状態でノイズが出なければ、外部からノイズが入っている可能性があります。接点から直接ノイズが入っている場合にはリレーを入れるなどしてノイズが入らないようにしてください。

Q．停電通報だけ通報がきません。
A．停電保証充電池の充電が不十分な場合、電源ランプは点灯しても電話をかけることができません。出荷時、付属の停電保証充電池には充電が十分されていません。本体を 72 時間通電させてください。停電保証充電池の充電を十分に行ってから、停電通報をさせてみて下さい。

Q．音声録音再生はどのようにして行うのですか？
A．本体上面に「REC」「PLAY」「STOP」の 3 つのボタンがあります。録音する場合は「REC」と「STOP」ボタンを、再生する場合は「PLAY」ボタンを押します。音声は、本体に搭載されたマイクとスピーカーから録音・再生されます。

SMS メール通報についてのご質問

Q．通報先へメールが届きません。
A．通報先が SMS 受信拒否に設定されていませんか。また、設定を読み込んで電話番号をご確認下さい。
※ウィルコムは PHS なので、送信出来ません。

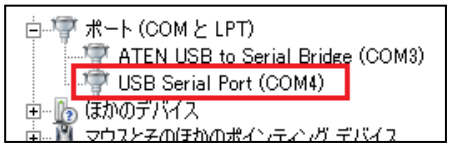
Q．WL21HW に SMS を送れますか？
A．WL21HW は SMS 受信が出来ません。

Q．SMS 通報を受けた警報が解除した後に、再び警報発生しましたが通報がきません。
A．本体 Ver1.10 の SMS 通報は、一度発生した警報（通報済み）が再度発生しても通報を行いません。再度通報が必要な場合は『全体の設定』の『SMS 個別解除呼び出し』にチェックを入れて下さい。

設定ソフトについてのご質問

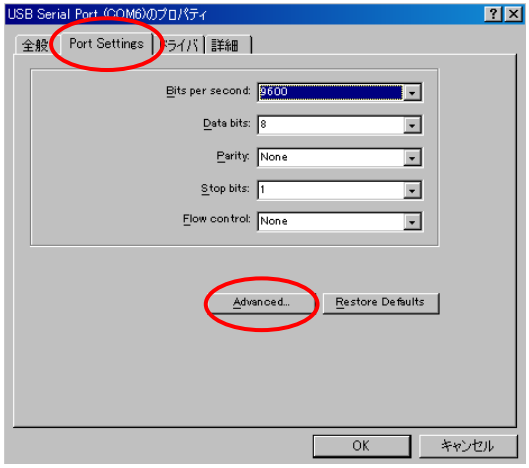
Q．設定内容が転送（又は読込）出来ない。

A．USB ドライバがインストールされているかご確認下さい。
また、インストール済みの場合は「デバイスマネージャー」で COM 番号を変更してみて下さい。
【インストールの確認方法】
本体とパソコンを付属の USB ケーブルで接続した状態で、「デバイスマネージャー」を開きます。
・「スタート」→「コントロールパネル」→「デバイスマネージャー」
・「スタート」→「コントロールパネル」→「システム」→「ハードディスク」→「デバイスマネージャー」
「デバイスマネージャー」の「ポート（COM と LPT）」内に「USB Serial Port（COM○）」が表示されているか確認します。表示されていなければ、USB ドライバがインストールされていません。一度もインストールされていない場合は、ホームページより「USB ドライバのインストール方法（PDF）」を参照下さい。
一度でもインストールされた場合は、「USB ドライバの削除方法（PDF）」を参照下さい。USB ドライバを削除した後に、再度インストールを行って下さい。

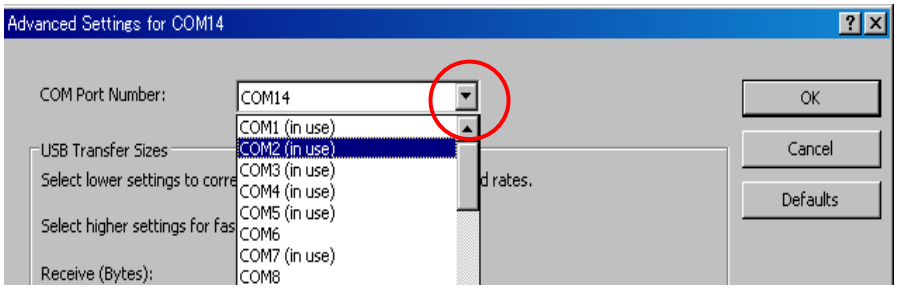


【COM 番号の変更方法】
「USB Serial Port(COM○)」を右クリックし「プロパティ」を開きます。

「USB Serial Port のプロパティ」の「ポートの設定（Port Settings）」タブをクリックし、「詳細設定（Advanced）」を開きます。



逆三角をクリックし、変更したい COM 番号を選択し「OK」をクリックします。



「USB Serial Port のプロパティ」も「OK」をクリックします。
「デバイスマネージャー」「システムのプロパティ」も閉じます。

Q．設定を転送するときに「バージョンが合いません」と表示されます。
A．本体と設定ソフトのバージョンの組み合わせが正しくない場合表示されます。バージョンを確認してください。

Q．設定ソフトは、Windows で使用できますか。
A．WindowsXP / 7 / 8 で動作します。

Q．設定ソフトが開けません。
A．設定ソフトを取扱説明書通りにインストールせず、設定ソフト exe のみインストールした場合は、VB6 ランタイムモジュールが必要です。

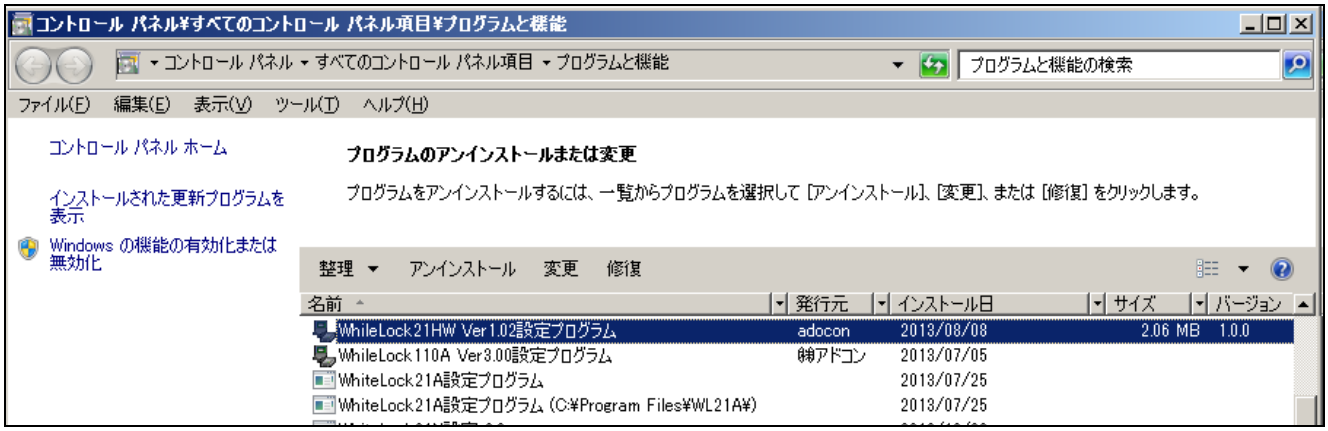
Q．設定ソフトはついていないのですか？
A．付属していません。弊社ホームページ「http://www.adocon.jp/」より WL21HW の「設定ソフト」をダウンロードして下さい。インストール方法は、15 ページの「設定ソフトのインストール」を参照下さい。

こんなときには

設定ソフトウェアのアンインストール

＊下記は Windows7（Professional サービスパック 1）で確認しています。他の環境では、動作や表示が異なる可能性があります。

[スタート]メニューの [コントロールパネル] の [プログラムと機能] を選択します。



アンインストールの実行を確認してきますので、「はい」を選択します。

アンインストール準備中画面です。

アンインストール実行中画面です。アンインストールが完了すると、画面が消えます。

本体を清掃するときは

本体のよごれは、やわらかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く拭いてください。
ベンジン、シンナーなど（揮発性のもの）や薬品を用いて拭いたりしますと、有害なガスが発生したり、変形や変色の原因になることがあります。

電源を OFF にした時にランプがいつまでも消灯しない場合

・本体内部の電池スナップを電池から一旦外して下さい。『ケースカバーの取り外しと取り付け』は 56 ページを、『電池スナップの外し方』は 46 ページを参照下さい。

・電源スイッチ横にリセットボタンがある場合は、先の細いもので リセットボタンを押します。
※先の折れやすいものや、とがった物でリセットボタンを押さないで下さい。また、リセットボタンは強く押しすぎない様にして下さい。

ケースカバーの取り外しと取り付け

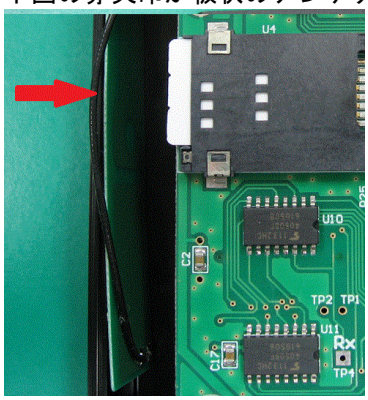
※ご注意:ケースカバーは SIM カードの取り付け取り外し及び充電池の交換のとき以外は開けないでください。また、粉じんの無い屋内で作業をしてください。

カバーの取り外し

1. 本機の電源スイッチを OFF にします。DC-IN のプラグや USB ケーブルを外します。また、外部信号入力はコネクタになっていますので引き抜いて外します。
2. 人体の静電気を机、水道の蛇口、窓枠などに触って除去して下さい。
3. 本機の裏側のケース固定ネジ 4 本を外し、やさしく上蓋を開けます。
4. 内部の基板は静電気に弱く精密部品が取り付けてあります。興味半分に触らないでください。故障することがあります。

カバーの取り付け

1. 人体の静電気を机、水道の蛇口、窓枠などに触って除去して下さい。
2. 内部の電池の電線や板状のアンテナなどを挟み込まないように、そっと上蓋をかぶせます。
※板状のアンテナやリード線に注意してください。
※板状のアンテナはメンテナンスの際に取り出せるよう固定されていません。両面テープ等でケースに貼り付けないで下さい。
下図の赤矢印が板状のアンテナです。



3. 押しボタンの頭が出ている事、外部信号入力等ランプの頭が出ている事を確認します。
4. ケース周囲を見て隙間無くきちんと上蓋がされているか確認します。
5. ビスを取り付けます。このとき強く締めすぎますと、ねじ山が無くなり、ネジが締まらなくなりますのでご注意下さい。

仕様

WhiteLock21HW 本体

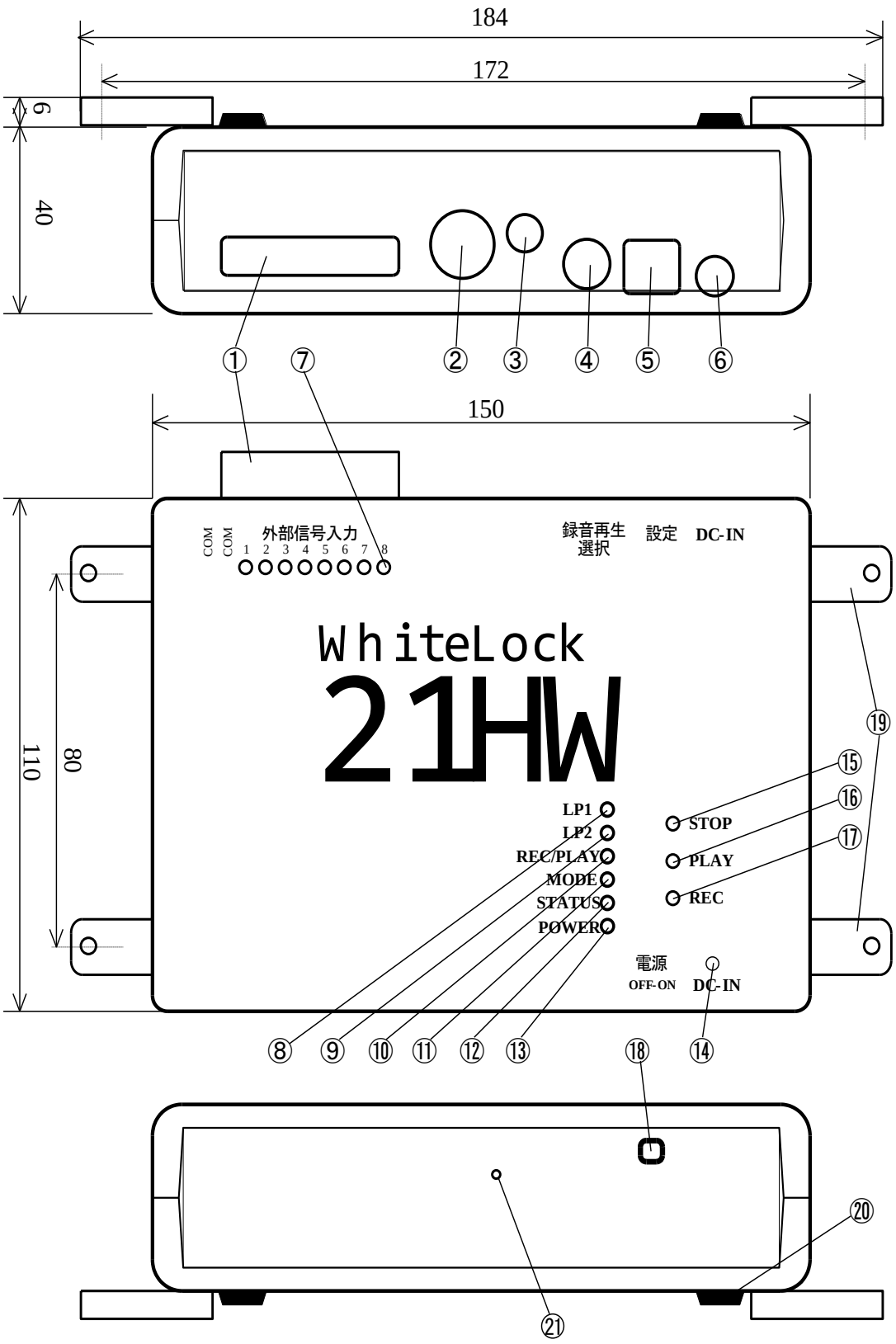
形式	WhiteLock21HW（FOMA モジュール搭載非常通報装置）
適用回線	FOMA 無線
回線接続方式	FOMA ユビキタスモジュール
SIM カード	ドコモ FOMA カードまたはドコモ UIM カード
動作設定	パソコン用専用ソフトウェアで設定内容を転送する。
信号入力点数	8 点（無電圧接点またはオープンコレクタ）
停電復電検出機能	本体内部に停電復電検出機能搭載。停電検出時間設定あり。
自動発信	入力変化。検出時間設定あり
SMS メール発信	最大 6 ヶ所
話し中検知機能	あり（話し中及び通信が確立しないときにリダイヤル最大 30 分間）
音声録音方式	圧縮無し直接録音方式
音声録音時間	12 チャンネル装備。1 チャンネル 12.5 秒。合計 150 秒。
音声メモリバックアップ	不要（フラッシュメモリー）
録音再生方法	マイクとスピーカーを搭載。 録音・停止・再生ボタン操作による。
停電保証	内蔵電池により、10 分間。
制御 CPU	8 ビットマルチ CPU
外部インターフェース	USB 2.0。USB ハブには接続できません。
AC 電源	AC アダプタ AC100V 約 5VA 50/60Hz
動作温度範囲	-10 ℃ ～ 50 ℃
動作湿度範囲	15 % ～ 80 % （結露なきこと。腐食性ガスが無く粉塵等の汚れがないこと）
周囲環境	腐食性ガスなきこと。 粉塵等汚れの激しい場所での使用は、カバー等で保護して下さい。
呼出電話番号設定	最大 6 ヵ所
停電保証充電池	006P DC9V 250mAh ニッケル水素充電池
寸法（mm）	150 (W) × 110 (H) × 40 (D) 突起部を除く。
重量	重量 約 300g 端子台・電池・モジュール込みの本体重量
DC 入力電圧	DC10.0V
消費電流	DC10.0V 時、待機時 130～170mA（最大 320mA）

設定ソフトウェア

型式	WhiteLock21HW 設定ソフトウェア
動作環境	Windows XP、Windows 7、Windows 8 日本語のみ対応 メモリ 64M 以上 ディスク空き容量 7M 以上

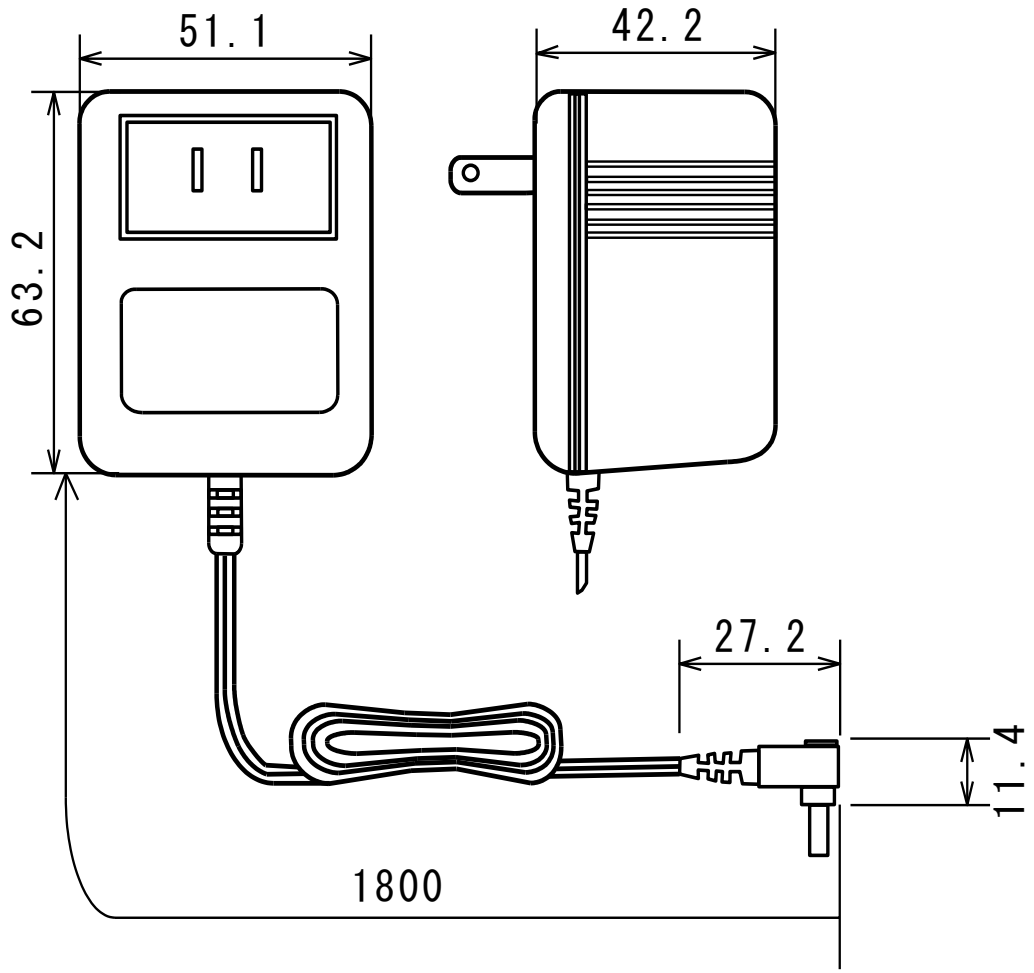
外形図

本体


184
172
6
40
①
⑦
②
③
④
⑤
⑥
150
110
80
COM
COM
外部信号入力
1 2 3 4 5 6 7 8
録音再生
選択
設定
DC-IN
WhiteLock
21HW
LP1
LP2
REC/PLAY
MODE
STATUS
POWER
STOP
PLAY
REC
電源
OFF-ON
DC-IN
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
⑳
㉑

①	外部信号入力端子	⑧	動作モニタランプ 1	⑮	録音再生・停止押しボタン
②	再生用スピーカー	⑨	動作モニタランプ 2	⑯	録音再生・再生押しボタン
③	録音用マイク	⑩	録音再生モニタランプ	⑰	録音再生・録音押しボタン
④	録音再生・チャンネル切替	⑪	MODE ランプ	⑱	電源スイッチ
⑤	設定用 USB コネクタ	⑫	STATUS ランプ	⑲	取付足
⑥	電源直流入力コネクタ	⑬	電源ランプ	⑳	ゴム足
⑦	外部信号入力モニタランプ	⑭	DC 電源ランプ	㉑	リセットボタン

AC アダプタ



バージョン

WhiteLock21HW	取扱説明書	設定ソフト	日付
Ver1.02	Ver1.00（暫定版）	Ver1.00	2013/03/18
Ver1.03～1.05	Ver1.01		2013/04/02
Ver1.08	Ver1.02		2013/06/12
Ver1.09	Ver1.03		2013/07/17
Ver1.10	Ver1.04	Ver1.02	2013/08/10
	Ver1.05		2013/12/03
	Ver1.06		2014/01/31
	Ver1.07		2014/05/28
	Ver1.08		2014/06/06
	Ver1.09		2014/08/26
Ver1.20	Ver1.10		2014/12/24
	Ver1.11		2015/02/06
	Ver1.12		2015/03/09

履歴

2013 年 03 月
Ver1.00
・初版作製（暫定版）
2013/04/02
Ver1.01
・細かいところの修正
2013/06/12
Ver1.02
・FOMA サービス契約申込みについて追加
・UIM カードと miniUIM カードの説明を追加
・電源が切れない場合の対処法を追加
2013/07/16
Ver1.03
・Ver1.09 へのバージョンアップによる動作の違いを追加
・警報の発生と解除の説明を変更と追加
・音声通報のリダイヤル規制について説明を追加
・音声通報のリダイヤル規制と通報先が圏外・話中の場合に 30 分で通報終了の説明図を追加
・設定通報先一覧表の修正
・停電保証用電池の仕様に 250mAh 以上を追加
2013/08/10
Ver1.04
・設定ソフト Ver1.02 のインストール方法とアンインストール方法の差し替え
・パソコン画面の環境が Windows7（Professional サービスパック 1）であることを追加
2013/12/03
Ver1.05
・MVNO で使用した場合、動作保証対象外となる事を追加
・ドコモショップでの携帯電話機持ち込み契約や、0 円携帯電話機新規契約は基本料金が高くなる事を追加
・小型防滴アンテナは、補助アンテナでない事を追加
・リセットボタンの説明を追加
・間違った設定をしている場合のランプ状態と修正法を追加
2014/01/31
Ver1.06
・出荷時の録音メッセージ内容を追加
・信号入力の内部回路図を他製品と統一
2014/05/28
Ver1.07
・電源 ON 時のランプの点灯状態を訂正
・入力端子の信号線に単線 0.5Φ～1.3Φ を追加
・設定ソフト対応 OS に Windows8 を追加
2014/06/06
Ver1.08
・信号線をまとめるのに絶縁付閉端接続子の説明を追加
・200V を 100V 変換するトランスの説明を Q&A に追加
2014/08/26
Ver1.09
・WL21HW_ANT は小型防滴アンテナを接続した状態でないと通信出来ない事を追加
・信号入出力内部回路図の矢印を削除
・よくある質問の追加と修正
2014/12/24
Ver1.10
・FOMA サービス申込方法の変更
・『使用出来る SIM カードについて』と『設定ソフトのインストール方法』の補足
・SMS 通報のみ設定した場合の動作を追加（Ver1.10）
・よくある質問の修正

2015/02/06
Ver1.11
・FOMA 回線契約方法に補足
・よくある質問の修正
2015/03/09
Ver1.12
・SMS 通報の動作内容を修正 (Ver1.10)

付録

設定通報先一覧表

通報装置に設定した内容を記入し、動作確認時や使用時の控えとして使用します。

【警報毎の音声通報先】

通報先＼警報		入力信号 1	2	3	4	5	6	7	8	停電復電	全解除
1											
2											
3											
4											
5											
6											

【警報毎のSMS通報先】

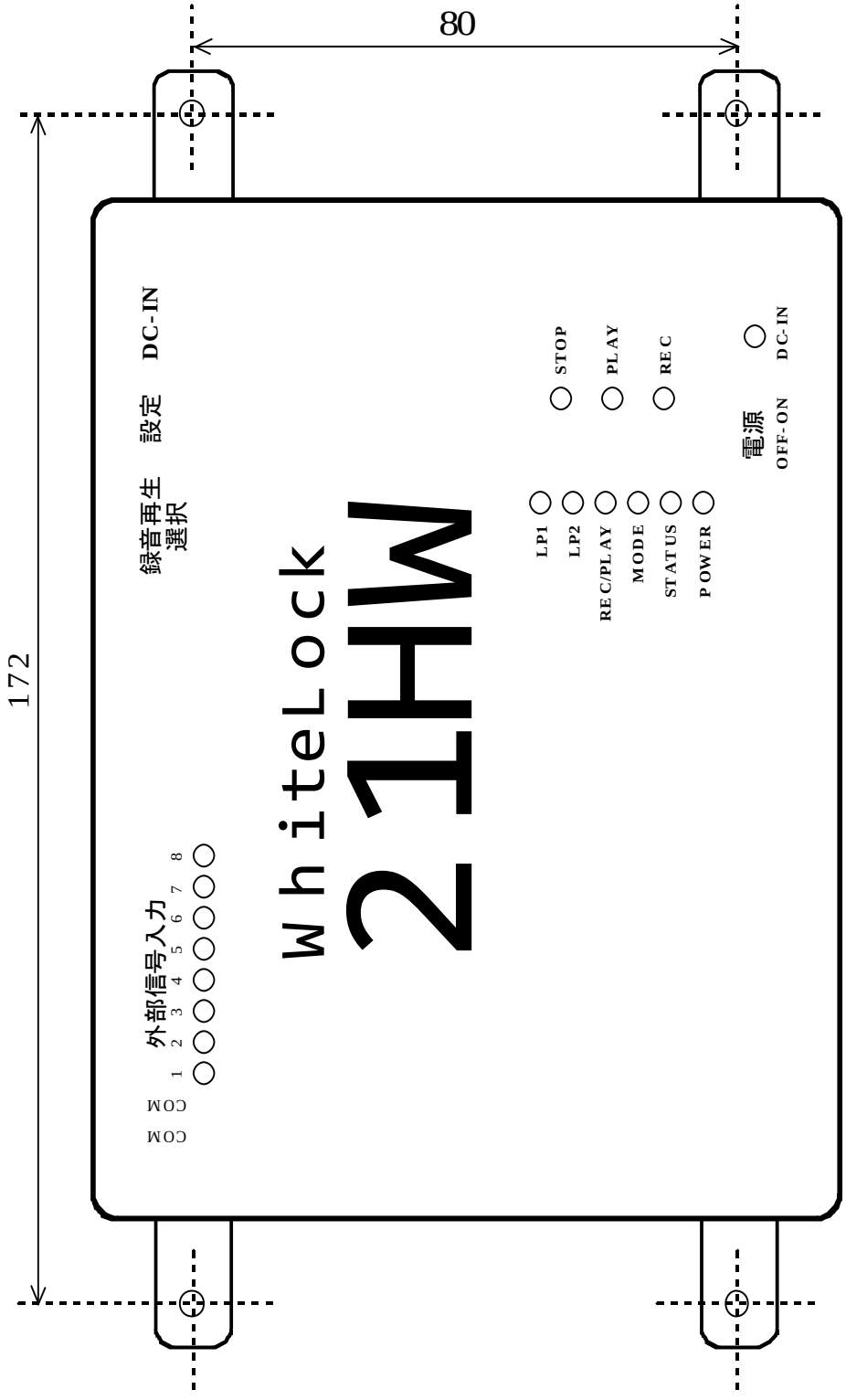
通報先＼警報		入力信号 1	2	3	4	5	6	7	8	停電復電	定期
1											
2											
3											
4											
5											
6											

☐ SMS定期通報（　　日　　時）

☐ SMS個別解除呼び出し

取付足穴位置台紙

付属の取付足で固定する場合の、穴位置決めにご使用下さい。
実寸大ですので A4 で印刷すると、穴位置台紙としてご使用いただけます。



索引

A

AC アダプタ 33, 42
a 接点 41

B

b 接点 41

C

COM..... 26, 27

D

DC-IN..... 10, 42

F

FOMA 無線モジュール 1, 11

L

LP1..... 10
LP2..... 10, 32

M

MODE..... 10
MVNO..... 1, 8, 9

P

PIN1 コード 9

R

REC/PLAY..... 10, 32

S

SIM カード..... 8, 9, 32
SMS..... 21, 24, 25, 34, 43
STATUS..... 10

U

UIM カード 8
UM01-HW..... 1, 8, 11
USB ドライバ 19

W

WhiteLock21HW_ANT 13

あ

アンインストール..... 55
アンテナオプション 13

い

インストール..... 15, 19

お

音声通報 22, 34, 43
音声録音 31

け

警報 35

こ

個別解除 21, 36

し

自動電源オフ 38
終了作業 10
状態確認 22
初期設定 10
信号入力部 42

せ

清掃 55
設定ソフト 15, 20
全解除通報 36, 37

そ

送信メッセージ 25

た

ダウンロード..... 15
端子台 41

ち

遅延時間..... 20
着信 45
着信許可 22, 38

つ

通信ポート 26
通報先 23

て

定期通報..... 21, 37
停電 37
停電保証..... 46
電源スイッチ..... 10, 33
電池 46

と

動作モニタ 44
取付足 42

に

入力信号..... 21, 41

ふ

復電 37

む

無電圧 41

り

リセットボタン 56
リダイヤル規制 40

ろ

録音チャンネル 31

WhiteLock21HW

取扱説明書

Ver1.12

2015 年 03 月

発行元　　株式会社アドコン

http://www.adocon.jp

〒690-2101 島根県松江市八雲町日吉 3-24

TEL (0852) 54-2036　FAX (0852) 54-2196